

水道工事用書類・様式の記載例集 改定の要旨

ページ	改 定 項 目	主 な 改 定 内 容
1-64 1-65 1-78 1-79 1-80 1-86 1-90 1-95 1-99 1-100 1-101 1-107 1-114 1-119 1-120 1-122 1-123 1-127 1-130 1-131 1-132 1-133	<p>(土木工事)</p> <p>工事着手届 現場代理人及び主任技術者等通知書 施工計画書 警戒宣言に伴う緊急時対策計画 建設業退職金共済制度加入届 材料搬入予定調書 下請負届 認定請求書 材料検査請求書(第 回) 中間検査請求書(第 回) 休日等の工事施工届 支給材料請求・受領・返納書(第 回) 既済部分検査請求書(第 回) 工事完了届 工事完了届 施工管理記録等報告書 ()記録の報告書 (第 回図書)承諾申請書 請求・通知・報告・協議書 協議・報告書 基本計画書 改善報告書</p>	<p>○ 書類下部の事務所名の記載を削除した。 (監理業務受託者＝事務所とはならないケースもあるため。)</p>
2-64 2-65 2-73 2-74 2-75 2-83 2-85 2-90 2-94 2-95 2-96 2-97 2-100 2-102 2-106 2-111 2-113 2-117 2-122 2-126 2-127 2-128 2-129	<p>(建築・設備工事)</p> <p>工事着手届 現場代理人及び主任技術者等通知書 施工計画書 警戒宣言に伴う緊急時対策計画 建設業退職金共済制度加入届 主要資材発注予定報告書 下請負届 認定請求書 ()記録の報告書 材料検査請求書(第 回) 中間検査請求書(第 回) 休日等の工事施工届 工事日報 発生材報告書(第 回) 既済部分検査請求書(第 回) 工事完了届 工事完了届 工事写真帳 (第 回図書)承諾申請書 (請求・通知・報告・協議)書 (協議・報告)書 基本計画書 改善報告書</p>	<p>○ 書類下部の事務所名の記載を削除した。 (監理業務受託者＝事務所とはならないケースもあるため。)</p>
1-90 2-85	<p>(土木工事、営繕・設備工事)</p> <p>下請負届 下請負届</p>	<p>○ 建設業許可番号の記載を削除した。</p>

ページ	改 定 項 目	主 な 改 定 内 容
1-126	(土木工事) 試験委嘱指定申請書	○ 提出先名を検査員又は監督員と施工実態に合わせ記載した。
	第5章 計画書等作成要領 第5 継手チェックシート	
1-167-6	GX形継手チェックシート (直管・P-Link)	○ 異形管等における挿し口挿入量目安線表示の変更により新規に追加した。
1-167-7	GX形継手チェックシート (異形管・G-Link)	○ 異形管等における挿し口挿入量目安線表示の変更により新規に追加した。
1-172-1	NS形継手チェックシート (φ300～450)	○ 異形管等における挿し口挿入量目安線表示の変更により新規に追加した。
1-182-2	PN形継手チェックシート	○ ロックリング挿入方法の変更により新規に追加した。
		<p>※ 上記のGX形、NS形の異形管等における挿し口挿入量目安線の表示変更は、平成30年4月頃より新旧仕様品が混在して販売される予定です。 新旧それぞれの仕様にあった継手チェックシートを使用してくださいようお願いします。</p> <p>※ PN形ダクティル鋳鉄管についても、JDPA規格の改正に伴い、平成30年4月頃より新旧の規格品が施工されることが想定されます。 新旧それぞれの規格にあった継手チェックシートを使用してくださいようお願いします。</p>

水道工事用書類・様式の記載例集

改定の要旨

ページ	改 定 項 目	主 な 改 定 内 容
1-203	第12 配水小管布設替・新設に伴う給水管取付替設計要領 (新規)	○配水管工事標準仕様書に給水装置工事標準仕様書を統合したことに伴い、給水装置工事標準仕様書に記載されていた「給水管取付替設計要領」の記載を見直して「配水小管布設替・新設に伴う給水管取付替設計要領」とした。
1-211	第13 給水管工事設計図及び完成図等作成要領	○配水管工事標準仕様書に給水装置工事標準仕様書を統合したことに伴い、「第12 給水管取付替工事完成図作成要領」の記載を見直して「第13 給水管工事設計図及び完成図等作成要領」とした。
1-213	1 総合図方式による設計図及び完成図作成方法	○「単独給水管工事等の設計図及び完成図作成方法」の追加のため、「完成図作成方法」から変更した。
1-213	(1) 図面の大きさ及び紙質	○紙質を設計図・完成図別に変更した。
1-213	(2) 提出部数	○提出部数を追加した。
1-213	(3) 表示方法	○語句を一部変更した。
1-214	(4) 図面の構成	○設計図・完成図別に変更した。
1-214	(5) 記載方法	○語句を一部変更し、標題欄を追加した。
1-218	(6) 給配水管の図示方法	○表示（線の太さ）の変更、管種等の追加・変更をした。
1-219	(7) お客さま番号等の表示方法	○設計図・完成図別に変更し語句を一部変更した。
1-221	(8) オフセットの記入方法	○語句を一部変更した。
1-222	2 平面図の具体的な記載方法	○語句、記載例を一部変更した。
1-225	3 立面図の具体的な記載方法	○語句、記載例を一部変更した。
1-227	4 単独給水管工事等の設計図及び完成図作成方法 (新規)	○総合図方式と区別するため、追加した。
1-228	5 取付替工事調書等の作成方法	○調書等の作成方法と単独給水管工事の設計図及び完成図の作成例を追加した。
1-243	第14 水道管管理図修正用資料の作成方法 (新規)	○配水管工事標準仕様書に給水装置工事標準仕様書を統合したことに伴い、給水装置工事標準仕様書に記載されていた「水道管管理図修正用資料の作成方法」の記載を見直して「第14 水道管管理図修正用資料の作成方法」とした。

目 次

第1編 土木工事	1-1
第1章 事務手続	1-3
第1 提出書類作成上の注意事項	1-5 ～1-6
第2 監督員（局）と受注者との書類の処理形態	1-7 ～1-9
第2章 工事事務の流れ	1-11～1-18
第3章 水道局が作成する書類	1-19～1-57
第4章 受注者が作成する書類	1-59～1-137
第5章 計画書等作成要領	1-139
第1 警戒宣言に伴う緊急時対策計画書	1-141～1-146
第2 工事完成図	1-147～1-160
第3 試験掘調査報告書	1-161～1-162
第4 注入工事施工計画書	1-163～1-166
第5 継手チェックシート	1-167～1-189
第6 溶接記録	1-190～1-192
第7 配水管工の腕章	1-193
第8 受注者持配管材料検査（照合・確認）チェック表 の作成要領	1-194～1-196
第9 施工数量集計表	1-197
第10 発生品重量集計表	1-198
第11 検査書類チェックリスト（参考）	1-199～1-202
第12 配水小管布設替・新設に伴う給水管取付替設計要領	1-203～1-218
第13 給水管工事設計図及び完成図作成要領	1-211～1-242
第14 水道管管理図修正用資料の作成要領	1-243～1-248
第6章 完成図面	巻末に袋とじ
第2編 建築・設備工事	2-1
第1章 事務手続	2-3
第1 提出書類作成上の注意事項	2-5 ～2-6
第2 監督員（局）と受注者との書類の処理形態	2-7 ～2-9
第2章 工事事務の流れ	2-11～2-18
第3章 水道局が作成する書類	2-19～2-55
第4章 受注者が作成する書類	2-57～2-133
第5章 計画書等作成要領	2-135
第1 施工計画書記載要領（建築工事）	2-137～2-141
第2 工事完成図作成要領	2-142～2-143

統一 1

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 4 0 0 1 0 0 号

工 事 着 手 届

平成 2 5 年 4 月 2 5 日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道建設株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎 印

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

下記のとおり着手したので届け出ます。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

2 5 水経契契第 1 号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間

契 約 金 額

¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . -
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)

契 約 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 8 日

工

期

平成 2 5 年 9 月 1 8 日

着 手 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 2 5 日

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 着手日指定の場合は、着手指定日に届け出ること。

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 4 0 0 1 0 0 号

現場代理人及び主任技術者等通知書

(発注者宛)

平成 2 5 年 4 月 9 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号

氏名

水道建設株式会社

代表取締役 水 道 太 郎 (印)

〔 法人の場合は名称及び代表者の氏名 〕

現場代理人及び主任技術者等下記のとおり定めたので別紙経歴書を添えて通知します。

文 書 番 号 (契 約 番 号)	2 5 水経契契第 1 号		
工 事 件 名	千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間 配水小管布設替工事		
工 事 場 所	千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間		
契 約 金 額	¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)		
契 約 年 月 日	平成 2 5 年 4 月 8 日	工 期	着手指定の日から 1 0 0 日間
技 術 者 分 類	技 術 者 氏 名	建設業法上の該当資格に ○を付ける。	備 考
現場代理人氏名	ふりがな どぼく いちろう 土木 一郎		現場代理人と主任技術者又は 監理技術者は兼任できる。
主任技術者氏名	ふりがな どぼく じろう 土木 二郎	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	
監理技術者氏名	ふりがな どぼく さぶろう 土木 三郎	建設業法第 1 5 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	
専門技術者氏名 ()	ふりがな	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	() 内には専門技術者を置 いて施工する工事の建設業 法上の区分を記入する。
電気保安技術者 氏 名	ふりがな		資格は別紙経歴書に記入す る。
増員の技術者	ふりがな どぼく しろう 土木 四郎		契約約款第 5 4 条関連
受注者 (J V の場 合幹事会社) の許 可区分等	土木一式・建築一式・電気・管・鋼構造物・舗装・機械器具設置・造園 水道施設・その他 () 大臣・知事 特定 一般 6 2 第 1 2 3 4 号		

監理業務受託者

担当者名

注 受注者 (J V の場合幹事会社) の許可区分等の欄は、監理技術者を設置した場合のみ記入すること。

(注) 変更の場合は、表題末尾に「(変更)」と記載し、変更者の備考欄に「(変更)」と記載すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

施 工 計 画 書

平成25年 4月19日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
受注者 水道建設株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

(法人の場合は名称
及び代表者の氏名)

現場代理人氏名 土木 一郎 ㊞

下記工事について別添施工計画書を提出します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

監理業務受託者

担当者名

㊞

注 この様式は、施工計画書のほか変更施工計画書、溶接工の名簿、警戒宣言に伴う緊急時対策計画書等の書類の提出にも使用する。

(注) 作成に当たっては、配水管工事標準仕様書を参考に記述すること。
施工計画書を変更、追加等する場合は、標題の横に「()」で表示すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

警戒宣言に伴う緊急時対策計画書

平成25年 4月16日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
受注者 水道建設株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

現場代理人氏名 土木 一郎 ㊞

下記工事について別添警戒宣言に伴う緊急時対策計画書を提出します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

監理業務受託者

担当者名

㊞

注 この様式は、施工計画書のほか変更施工計画書、溶接工の名簿、警戒宣言に伴う緊急時対策計画書等の書類の提出にも使用する。

(注) 1 作成に当たっては、「計画書等作成要領」の「警戒宣言に伴う緊急時対策計画書」を参考に記述すること。

2 受注者は、工事着手に先立ち提出すること。

なお、軽易な工事においては、監督員の承諾を得て提出を省略することができる。

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 4 0 0 1 0 0 号

建設業退職金共済制度加入届

(発注者宛)

平成 2 5 年 4 月 2 6 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
受注者 水道建設株式会社
氏名 代表取締役 水 道 太 郎 印〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

建設業退職金共済制度の加入について、

・ 掛 金 収 納 書
・ 標 識 (シール) の 工 事 現 場
における 掲 示 状 況 写 真
・ 建 設 業 退 職 金 共 済 証 紙
購 入 状 況 報 告 書

を添えて届け出ます。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

2 5 水経契契第 1 号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間

契 約 金 額

¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . -
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)

契 約 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 8 日

工

期

平成 2 5 年 9 月 1 8 日

- ・ 上記添付書類のうち、掛金収納書、標識(シール)の工事現場における掲示状況写真、建設業退職金共済証紙購入状況報告書のいずれかを提出できない場合は、提出できない書類名称及び提出できない理由を下記に記載すること。
- ・ 建設業退職金共済制度に非加入の場合は他の共済制度(中小企業退職金共済制度等)に加入している状況を下記に記載し証明する書類を添付し提出すること。

【提出できない場合(3ケース)の記載例】

本工事は、

ケース 1 高度な技術を要する〇〇工事のため、

ケース 2 専門的な〇〇工事であり、当社社員のみで施工を行うため、

ケース 3 技術資格を有する作業員で施工し、退職金制度をもつ会社に所属しているため、

本制度に該当する現場労働者は雇用しません。

このため、本工事に係る掛金収納書の提出はいたしません。

監理業務受託者

担当者名

印

注 標識(シール)の工事現場における掲示状況写真を同時に提出できない場合には、後日この様式を使用して別途提出すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

材料搬入予定調書

平成25年 4月18日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
受注者 水道建設株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

現場代理人氏名 土木 一郎 ㊞

下記の工事に使用する材料の搬入予定は、別紙のとおりです。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

監 督 員
職 氏 名

主事 〇〇〇 〇〇〇 ㊞

受 付 年 月 日

平成25年 4月18日

監理業務受託者

担当者名

㊞

- (注) 1 材料搬入計画書を添付すること。
 2 受注者持材料搬入内訳調書を別途作成すること。
 3 (材料・機器試験) 記録の報告書等を必要の都度提出すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 4 0 0 1 0 0 号

下 請 負 届

(発注者宛)

平成 2 5 年 4 月 1 6 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道建設株式会社

氏名

代表取締役 水 道 太 郎

印

法人の場合は名称
及び代表者の氏名

下記のとおり下請負により施工しますので届け出ます。
なお、下請負者に対する工事の調整、指導及び監督については、当社において一切の責任をもって
行います。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

2 5 水経契契第 1 号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間

契 約 金 額

¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . -
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)

契 約 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 8 日

工

期

平成 2 5 年 9 月 1 8 日

下 請 負 金 額

¥ 8 7 , 0 0 0 , 0 0 0 . - (¥ 5 7 , 0 0 0 , 0 0 0 . -)

下 請 負 者 名

別紙記載のとおり

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 下請負金額の()内には、建設業法別表第一に規定される 2 9 業種のみを対象として積み上げた金額を記載すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

認 定 請 求 書

(発注者宛)

平成25年 7月 5日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎 印〔法人の場合は名称
及び代表者の氏名〕

下記の工事について、中間前払金の請求をしたいので、要件を満たしていることの認定を請求します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-

既 受 領 額

¥58,000,000.-

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

摘 要

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 工事履行報告書を添付すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

材料検査請求書 (第1回)

(発注者宛)

平成25年 7月16日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号

水道建設株式会社

氏名

代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

現場代理人氏名 土木 一郎

印

下記のとおり材料検査を請求します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

検 査 場 所

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地 〇〇製作株式会社〇〇工場

検 査 対 象 材 料

別紙のとおり

検 査 員
氏 名

主事 〇〇〇 〇〇〇 印

立 会 員
職 氏 名

主事 □□□ □□□ 印

検 査 年 月 日

平成 年 月 日

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 承諾図書に基づくものや検査員による検査の場合に提出すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

中間検査請求書 (第1回)

(発注者宛)

平成25年 7月16日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号

氏名

代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

現場代理人氏名 土木 一郎

印

下記のとおり中間検査を請求します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

検 査 場 所

××区××町×丁目××番地

検 査 対 象

別紙のとおり

検 査 員
氏 名

主事 〇〇〇 〇〇〇 印

立 会 員
職 氏 名

主事 □□□ □□□ 印

検 査 年 月 日

平成 年 月 日

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 中間検査とは、既済部分検査以外の管継手の塗装、モルタル充填等の検査のもので後日確認が困難な場合等に行う検査である。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

休 日 等 の 工 事 施 工 届

(発注者宛)

平成25年 5月 7日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

(法人の場合は名称
及び代表者の氏名)

現場代理人氏名 土木 一郎 印

下記工事について工期に含まれていない休日等の工事施工について届け出ます。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

届
出
事
項

施工年月日

平成25年 5月19日

箇

所

千代田区神田神保町3丁目25番地先

理由及び工事内容

【記載例】

沿道千代田ビルから、駐車場前の工事は出入りのない休日に実施するよう要望されたため。
(作業内容)
掘削及び土留工

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 工期に含まれない日に作業を行う場合に用いること。ただし、届出事項については、必ず事前に監督員と打合せ又は協議をすること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

支給材料 請求
受領
返納 書 (第1回)

(発注者宛)

平成25年 7月16日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号

氏名

水道建設株式会社

代表取締役 水 道 太 郎

印

(法人の場合は名称
及び代表者の氏名)

下記のとおり支給材料を

請求します。
受領しました。
返納します。文 書 番 号
(契 約 番 号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

支 給 材 料

別紙記載のとおり

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 請求、受領及び返納のうちいずれかを選択すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

既済部分検査請求書（第1回）

(発注者宛)

平成25年 7月16日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
 受注者 水道建設株式会社
 氏名 代表取締役 水 道 太 郎 印

法人の場合は名称
及び代表者の氏名

下記工事の既済部分検査（第1回）を請求します。

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-

既 受 領 額
(うち前払金額)¥58,000,000.-
(¥58,000,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工 期

平成25年 9月18日

既済部分の支払
を受ける根拠

契約条項第38条

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 既済部分調書を添付すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

工 事 完 了 届

平成25年 9月18日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎 印

〔法人の場合は名称
及び代表者の氏名〕

下記の工事を本日完了したので届け出ます。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

受 付 年 月 日

平成25年 9月18日

監 督 員
職 氏 名

主事 〇〇〇 〇〇〇 印

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 契約工期前に完了して本様式を提出する場合でも、工期欄は契約工期を記入すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

工 事 完 了 届

(発注者宛)

平成25年 9月18日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社

氏名

代表取締役 水 道 太 郎 印

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

下記の工事を本日完了したので届け出ます。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥1,995,000.-

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥95,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

受 付 年 月 日

平成25年 9月18日

監 督 員
職 氏 名

主事 〇〇〇 〇〇〇 印

検 査 年 月 日

平成25年 9月26日

検 査 員
職 氏 名

主事 △△△ △△△ 印

監理業務受託者

担当者名

印

備考 本書は、検査調書の作成を省略することができる場合に使用すること。

- (注) 1 省略できる場合とは、東京都水道局財務規程第286条に規定するものを指す。
2 契約工期前に完了して本様式を提出する場合でも、工期欄は契約工期を記入すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

施工管理記録等報告書

(発注者宛)

平成25年 6月13日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

（法人の場合は名称
及び代表者の氏名）

現場代理人氏名 土木 一郎 印

下記工事の（現場注入試験）の結果を別紙資料のとおり報告します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

監理業務受託者

担当者名

印

注 この様式は、土木工事出来形管理基準等に基づく報告以外の、杭の支持力試験、ケーソンの地耐力試験等、主として現場で試験（測定）したものの結果報告に使用する。

(注) 当局は、本様式を現場注入試験、地盤改良の一軸圧縮試験、標準貫入試験その他特記仕様書で特に定めている試験等の重要な結果報告に用いる。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

(出来形管理) 記録の報告書

(発注者宛)

平成25年 9月18日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
 水道建設株式会社
 受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
 及び代表者の氏名 〕

現場代理人氏名 土木 一郎 印

下記工事の(出来形管理) 記録を報告します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

備 考

工種 配水管工事(配水小管)
舗装工事

出来形管理表は、別紙のとおり

監理業務受託者

担当者名

印

注 1 この様式は、土木工事出来形管理基準等に基づく材料の試験成績表、出来形の測定結果表等の提出及び絶縁・水圧試験等の報告に使用する。

2 () 内には、路盤材料の試験、アスファルト混合物の試験、擁壁工の出来形管理、絶縁試験等と記載する。

(注) 本様式は、材料・機器試験証明書等の報告にも使用する。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

試験委嘱指定申請書

平成25年 7月 4日

(検査員又は監督員) 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
 受注者 水道建設株式会社
 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

（法人の場合は名称
及び代表者の氏名）

現場代理人氏名 土木 一郎 印

下記の試料の試験について委嘱機関の指定を申請します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

件 名 又 は 用 途

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

試 料 名

表層固化処理工法の改良体

呼び名（種類）

セメント系固化材（高炉セメント）

産地又は製造者

△△セメント工業（株）

備 考

シンウォールサンプリング試料（セメント・コンクリート材令28日）

試験委嘱指定書

平成25年 7月 22日

(検査員又は監督員) 職氏名 ○○○ ○○○ 印

上記申請書により申請のあった件について、下記のとおり指定します。

試 験 委 嘱 機 関

(財) ○○計量センター

試 験 項 目

一軸圧縮試験

成 績 通 知 先

東京都水道局○○○○支所 ○○課

試 料 数

3検体

試料採取対象数量

100本

採 取 年 月 日

平成25年 7月 3日

採 取 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先

封 印 者 の 氏 名

○○○ ○○○

電 話

03-○○○○-○○○○

(注) この様式は、東京都水道局材料検査実施基準に基づく理化学試験の検査委嘱に用いる。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

(第1回図書) 承諾申請書

(発注者宛)

平成25年 6月 6日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社

氏名

代表取締役 水 道 太 郎

(法人の場合は名称
及び代表者の氏名)

現場代理人氏名 土木 一郎

印

下記工事について、別添(図書)の承諾を申請します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

上記の件について承諾します。

現場代理人 殿

平成25年 6月 6日

(工事主管課長)

東京都水道局〇〇〇〇支所
〇〇課長

氏名

□□□

□□□

印

監理業務受託者

担当者名

印

注 1 この様式は、仕様書等で承諾を義務付けられているものについて使用する。

2 () 内には、制作方法、基礎杭頭部切断、材料等と記載する。

(注) 承諾図書が複数ある場合は、別紙に一覧表(様式は任意)を添付すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

〔請求・通知
報告・協議〕 書

(発注者宛)

平成25年 7月29日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社

氏名

代表取締役 水 道 太 郎 (印)

〔法人の場合は名称
及び代表者の氏名〕

下記工事について工事請負契約書の第20条 1項により

〔請求・通知
報告・協議〕

します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年 4月 8日

工

期

平成25年 9月18日

〔請求・通知
報告・協議〕 内容

【記載例】

〇〇〇〇により、工期限内に工事を完了することが不可能なため、△△△△日間の工期の
延長を請求します。

監理業務受託者

担当者名

(印)

(注) 契約約款に基づく請求・通知・報告・協議に用いる。

文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

協 議
報 告

 書

(総括監督員又は工事主管課長)

平成25年 6月10日

東京都水道局〇〇〇〇支所

〇〇課長 〇〇〇 〇〇〇 殿

 住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
 受注者 水道建設株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

 (法人の場合は名称
 及び代表者の氏名)

現場代理人氏名 土木 一郎 (印)

 下記の工事について配水管工事標準仕様書〇.〇.〇に基づき

協 議
報 告

 します。
文 書 番 号
(契 約 番 号)

25水経契契第 1号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

協 議
報 告

【記載例】

工事中機械器具等において、排出対策型建設機械の使用が指定されているが、本工事では、〇〇〇〇〇〇で△△△△△△△△なため、使用することが難しいと考えられるので、従来の建設機械の使用について協議します。

監理業務受託者

担当者名

(印)

(注) 仕様書の本文中に監督員と協議することとなっているものに用いる。

文 書 番 号 (工事番号)	第1400100号		
-------------------	-----------	--	--

基 本 計 画 書

平成25年 6月27日

(発注者宛)

東京都水道局長
○○○ ○○○ 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社

受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

現場代理人氏名 土木 一郎 ⑩

下記の工事について別添基本計画書を提出します。

文 書 番 号 (契 約 番 号)	25水経契第 1号		
工 事 件 名	千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間 配水小管布設替工事		
工 事 場 所	千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間		
契 約 金 額	¥193,494,000.- (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)		
契 約 年 月 日	平成25年 4月 8日	工 期	平成25年 9月18日

監理業務受託者		担当者名	⑩
---------	--	------	---

(注) この仕様書は、施工計画書のほか変更施工計画書、溶接工の名簿、警戒宣言に伴う緊急対策計画書等の書類の提出にも使用する。

文 書 番 号 (工事番号)	第1400100号
-------------------	-----------

改 善 報 告 書

(総括監督員又は監督員)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

東京都水道局〇〇〇〇支所

〇〇課長 〇〇〇 〇〇〇 殿

(現場代理人)

水道建設株式会社

土木 一郎 印

文 書 番 号 (契 約 番 号)	25水経契契第 1号		
工 事 件 名	千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間 配水小管布設替工事		
工 事 場 所	千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間		
契 約 金 額	¥193,494,000.- (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)		
契 約 年 月 日	平成25年 4月 8日	工 期	平成25年 9月18日

平成〇〇年〇〇月〇〇日に交付された改善〇〇書について、下記のとおり改善したので報告します。

監理業務受託者		担当者名	印
---------	--	------	---

G X形 直管・P-Link チェックシート (呼び径75～250)

工 事 件 名							
呼 び 径				図 面 No.			

1 直管

呼び径	合格範囲 (mm)
75	8～18
100	8～18
150	11～21
200	11～21
250	11～21

2

3 P-Link

呼び径	合格範囲 (mm)
75	54～63
100	57～66
150	57～66
200	63～72
250	63～72

4

5

6

継 手 番 号							
略図/ラケ							
挿し口突部の有無							—
清 掃							—
滑 剤							—
挿し口の挿入量の明示							4 5
受口溝 (ロックソグ) の確認							—
爪、押しボルトの確認 (P-Link)							—
挿入量目安線 (赤線) と受口端面間距離の確認 (異形管挿し口) ※1							6
マーキング (白線) の明示 (異形管挿し口) ※2							6
受口端面～ゴム輪 間隔 (b) ※3 (チェックゲージで 全周を確認する)	全周チェック						1 3
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
受口端面～白線 (黄線) 間隔 (a)	①						2 4
	③						
	⑤						
	⑦						
押しボルト	本数						4
	トルク確認						
ライナの位置確認 (d部) ※4							5
マーキング (白線) 位置の確認 ※5							
判 定							—
備 考							

施 工 日	受 注 者 名	現場代理人
平 成 年 月 日		配 管 工

判定基準

※1 挿入目安線 (赤線) と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。

※2 挿し口外周～受口端面位置の白線を表示したか確認する。

※3 受口端面～ゴム輪間隔 (b) が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。

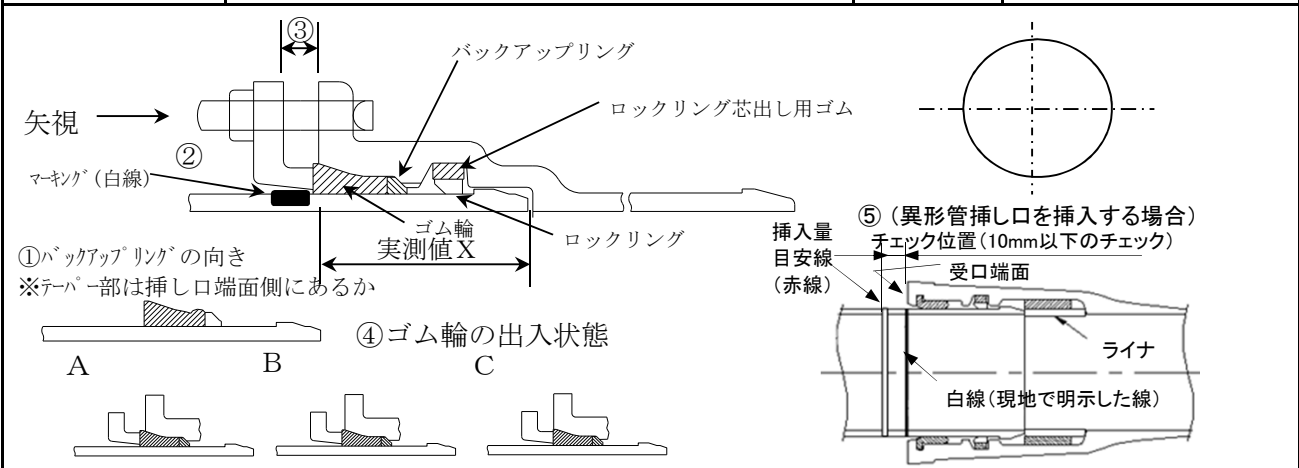
※4 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。

※5 接合直後にマーキング (白線) 位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。

判定基準 ※1 受口端面と押輪又はG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
※2 挿し口を異形管受口に挿入し、ストッパを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。
注) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

N S形異形管チェックシート（呼び径300～450）

工 事 件 名	
呼 び 径	
図面No.	



継 手 番 号	1	2	3	4	5	6	7
---------	---	---	---	---	---	---	---

略 図							
-----	--	--	--	--	--	--	--

清 掃							
滑 剤（専 用）							
受口溝（ロックリング）の確認							
①バックアップリングの向き							
②ボルト	数						
	トルク N・m						
③押し輪～受口間 隔	上						
	右						
	下						
	左						
④ゴム輪の 出入状況	上						
	右						
	下						
	左						
マーキング（白線）位置の確認							
⑤挿し口の抜け出し チェック（異形管受口）							
⑥挿入量目安線（赤線）と受口 端面間距離の確認（異形管挿し口）							
⑦マーキング（白線）の明示 （異形管挿し口）							
判 定							

備 考
 ※ 受口端部とゴム輪の間隔①＜受口端部とゴム輪の最大寸法③

施 工 日	受 注	現 場 代 理 人
平成 年 月 日	者 名	配 水 管 工

判定基準 接合直後に、マーキング（白線）位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認すること。

③押し輪～受口間隔 最大値－最小値≤5mm

④ゴム輪の出入状況 同一円周上にA、C又はA、B、Cが同時に存在しないこと。

⑤挿し口を異形管受口に挿入し、ストップを取り外した後、挿し口を上下左右に振って抜けないことを確認する。

⑥挿入量目安線（赤線）と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。

⑦挿し口外周へ受口端面位置の白線を表示したか確認する。

PN形継手チェックシート

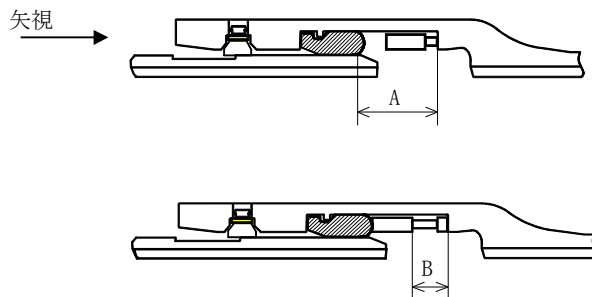
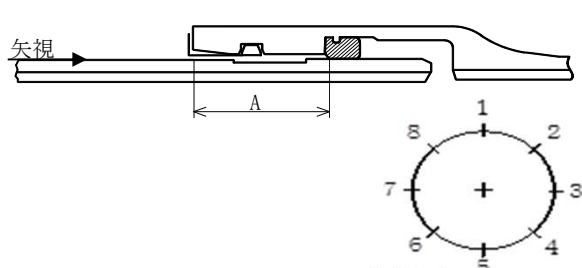
工 事 件 名

呼 び 径

図 面 No.

【 呼び径 300～600 】

【 呼び径 700～1500 】



注 図は接合途中で、測定時の状態を示す。

管 No.

管の種類

略 図

継手No.

清 掃

ロックリング

スプリング数 ※

滑 剤

受口面～ゴム輪
間 隔
(A)

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

押輪用ボルト

数

トルク
N・m

受口～押輪
間隔
(B)

①

③

⑤

⑦

判 定

備 考

施 工 日

平成 年 月 日

受注者名

現場代理人

配 管 工

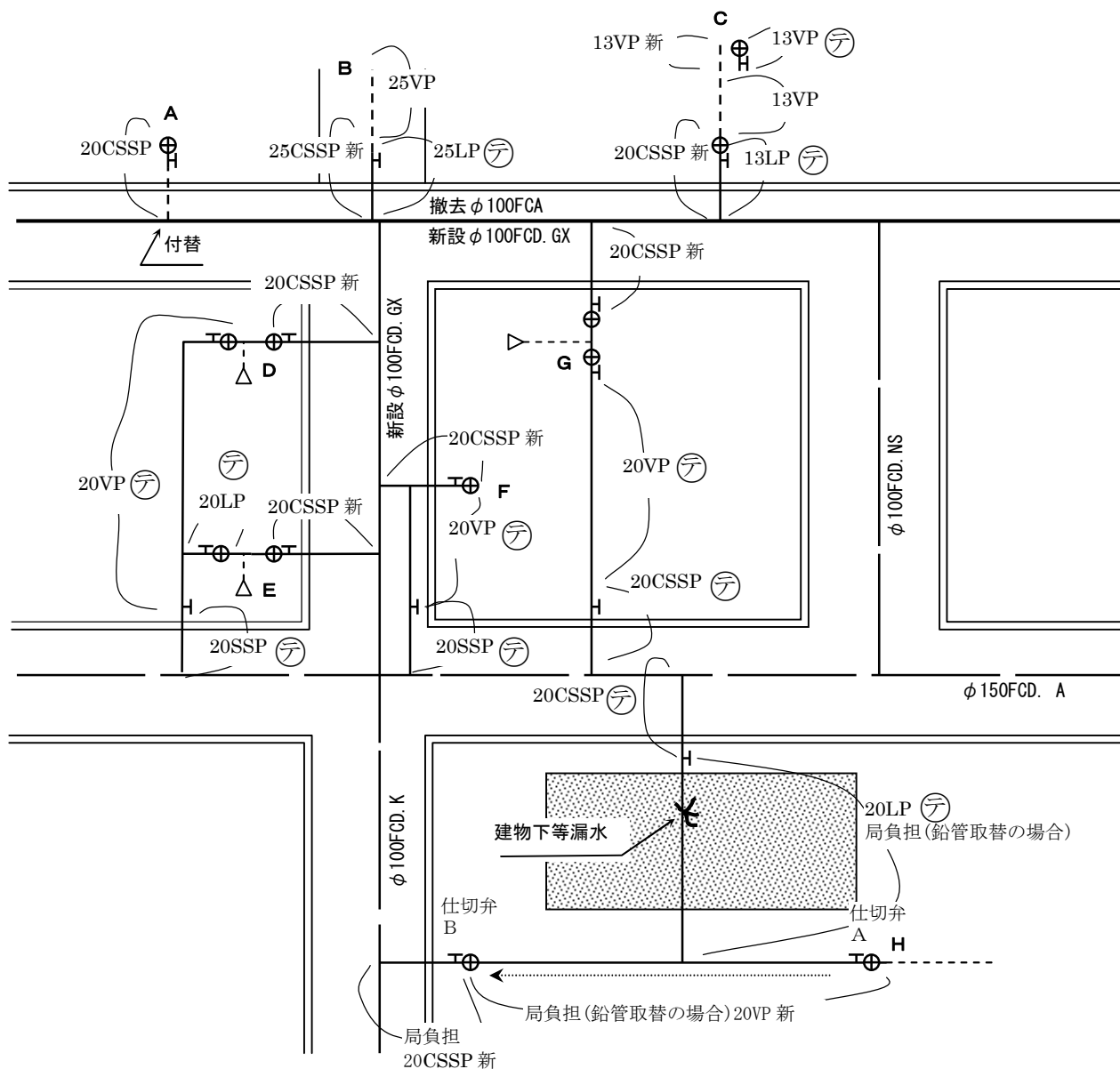
※ スプリングがある呼び径は、900～1500

第 12 配水小管布設替・新設に伴う 給水管取付替設計要領

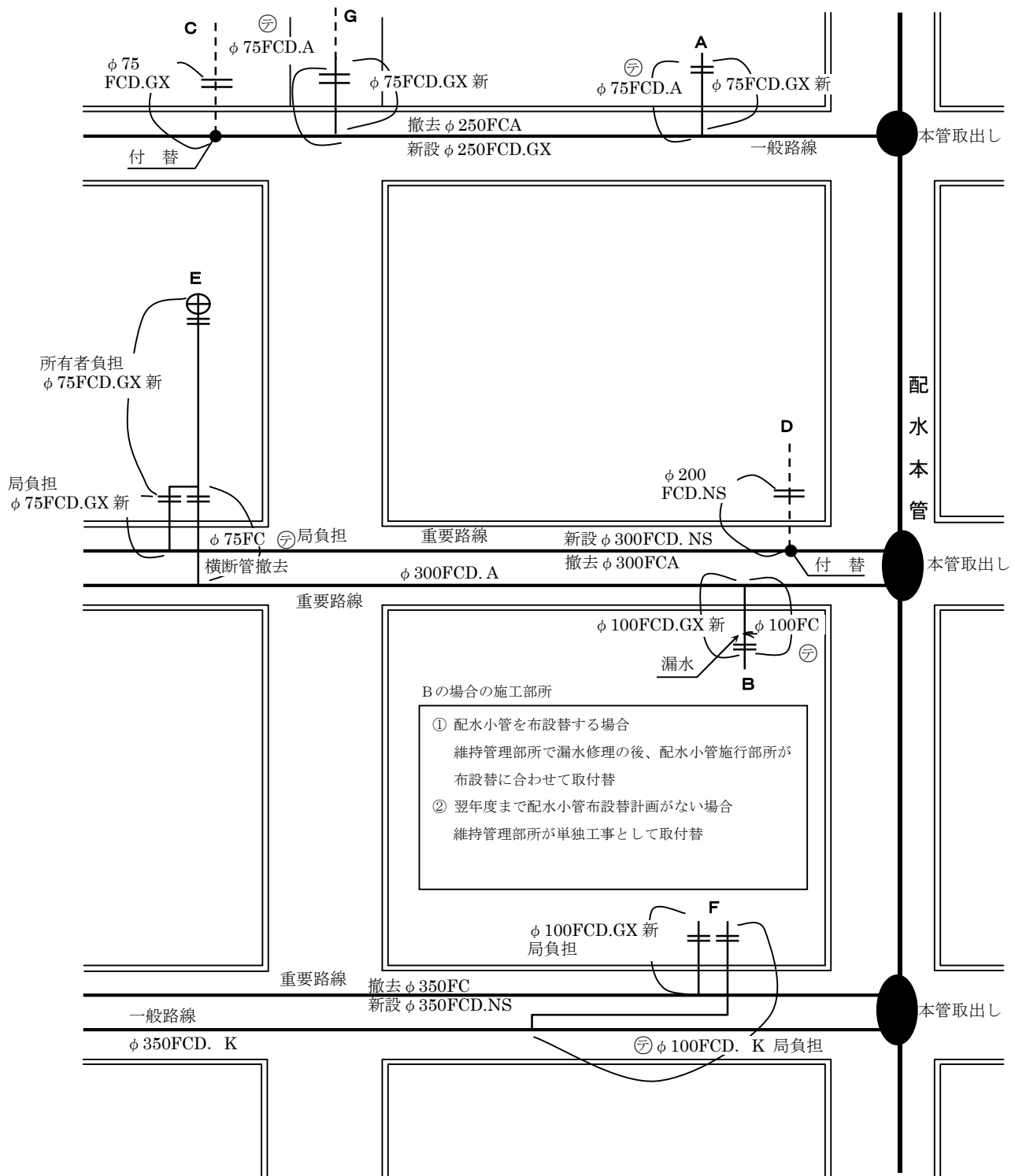
配水小管布設替・新設に伴う給水管取付替設計要領

1 対象となる給水管

- (1) 布設替又は新設する配水小管（又は舗装打替路線の配水小管）から取出ししている又は取出しすることとなる給水管（図－１：A・B・C、図－２：A・C・D）。
- (2) 布設替又は新設する配水小管（又は舗装打替路線の配水小管）と並行又は交差する（している）給水管（図－１：F、図－２：E）。
- (3) 配水小管からの取出し位置を、変更することによって、メータ上流側の長距離配管の解消、連合給水管の解消、メータ位置の適正化が図れる給水管で、かつ、その取出し又は撤去位置が、布設替又は新設する配水小管（又は舗装打替路線の配水小管）であること（図－１：D、E、G、図－２：F）。
- (4) その他当局が必要であると認めたもの（図－１：H参考）。



図－１



図－２

２ 設計

(１) 給水管の取出し位置

配水小管からの給水管の取出し位置は、既設給水管との接続に最も合理的なところから取出しすること。

(2) 設計範囲等

ア 50mm以下の給水管

(ア) 配水小管から宅地内に給水管を布設する場合は、宅地内の公私境界直近に設置する仕切弁までを原則、波状ステンレス鋼管とし、既設給水管と接続すること。

また、第一止水栓以降メータ下流側0.5mまでに鉛管が使用されている場合は、硬質塩化ビニル管等に取り替え、既設給水管と接続すること。

なお、単独給水管でメータが公私境界から1m程度より下流側に設置されている場合は、原則としてメータを公私境界から1m程度まで移設し、既設給水管に接続すること(図-1:C)。

(イ) 配水小管未布設道路に給水管を布設する場合は、当該道路入口先1m付近に仕切弁Bを設置し、既設給水管と接続すること(図-1:B)。

(ウ) 取出し位置を変更することによって、配水小管と給水管の並行又は交差の解消、メータ上流側の長距離配管の解消、連合給水管の解消、メータ位置の適正化が図れるものについては、取出し位置を合理的な位置に変更し、不要となる既設給水管は、原則としてこれを撤去すること(図-1:E.F)。

また、設置した仕切弁下流側において、既設給水管と接続する以外の工事が必要となる場合の工事費は、第一止水栓以降メータ下流側0.5mまでの鉛管取り替えの場合以外、所有者等の負担とする(図-1:H)。

(エ) 既設給水管が波状ステンレス鋼管又はステンレス鋼管で、配水小管からの取出し位置が適正のものは、その位置で付け替えること(図-1:A)。

(オ) その他当局が認めるものの設計範囲は、(ア)から(ウ)に準じること。

イ 75mm以上の給水管

(ア) 配水小管から宅地内に給水管を布設する場合は、宅地内の公私境界直近に設置する仕切弁(制水弁)までを原則、ダクタイル鋳鉄管(耐震継手管)とし、既設給水管と接続すること(図-2:A)。

(イ) 配水小管未布設道路に給水管を布設する場合は、当該道路入口先1m付近に仕切弁(制水弁)を設置し、既設給水管と接続すること(図-2:G)。

(ウ) 取出し位置を変更することによって、配水小管と給水管の並行又は交差の解消、メータ上流側の長距離配管の解消、連合給水管の解消、メータ位置の適正化が図れるものについては、取出し位置を合理的な位置に変更し、不要となる既設給水管は、原則としてこれを撤去すること(図-2:E.F)。

また、設置した仕切弁(制水弁)下流側において、既設給水管と接続する以外の工事が必要となる場合は、その部分の工事費は所有者等の負担とする(図-2:E)。

(エ) 既設給水管が耐震継手管で、配水小管からの取出し位置が適正のものは、その位置で付け替えること(図-2:C.D)。

(オ) 給水管が漏水した(している)場合は、部分修理の後、配水小管施工部所が耐震継手管に取り替えること。(図-2:B)。

(カ) その他当局が認めるものの設計範囲は、(ア)から(オ)に準じること。

ウ メータ補足管の取替

口径 50 mmの給水管を宅地内まで布設替し、メータます内に仕切弁Aを設置する場合は、メータ補足管を伸縮型に取り替えること。

(ア) 取替え対象及び確認方法

補足管が非伸縮式のものを対象とし、現場調査の際に確認すること。

エ 避難所等給水管耐震強化工事及び避難所における応急給水栓設置がある場合は、施工対象及び施工範囲については、局の指示に従うこと。

3 調 査

(1) 書類調査

ア 局から貸与する布設替及び新設対象路線図等の資料に基づき、水道管管理図から取付替えの対象となる給水管を抽出し、給水管取付替リスト（給水装置様式100）に記入すること。

イ 取付替対象給水管が使用中又は中止中となっているか、局から貸与する指定所在一覧リスト（SWAN端末及びTAMA端末出力様式）等で確認し、その結果を給水管取付替リストに記入すること。

なお、連合給水管の幹栓が中止中の場合は、その支分栓についても使用中又は中止中となっているかを確認し、1栓でも使用している場合は「使用中」として、全体が中止中となっている場合は「中止中」として、給水管取付替リストに記入すること。

ウ 給水装置工事施工票（給水装置様式1の裏面）により給水管の取出し位置を確認すること。

エ 給水装置工事施工票が水道廃止予定票（兼）切り離し工事調書（給水装置様式31）に収納されているもの（長期中止中のため切り離し対象となっている給水装置）で使用中となっているものは、局へ報告して指示に従うこと。

(2) 現場調査

ア 書類調査の結果を基に現場を確認し、現状に応じた設計を行うこと。

なお、掘削等工事予定箇所に境界杭等がある場合は、復元できるように3点以上の不動の場所から測定し、オフセット図を設計図に記入しておくこと。

イ 宅地内の工事を要するものは、使用者等に工事の内容を説明し、その承諾を口頭又は私道及び宅地内掘削承諾書等の書面で得ることとし、給水管取付替リストに結果を記入すること。

なお、承諾が得られなかった場合は、局へ報告して指示に従うこと。

ウ 使用者等が不在などのため承諾を得ることができない場合は、工事内容、連絡先及びご連絡を頂きたい旨等を記載した文書等を作成し、使用者等宅の郵便受等に投函し、日程調整等行って承諾を得ること。

エ 空き家や更地等の使用者等の所在が不明なものについては、局へ報告して指示に従うこと。

オ 私道内の工事を要するもので、局から指示があった場合は、土地所有者の調査を行い、土地所有者に工事の内容を説明し、その承諾を私道内配水管布設承諾書（給水部様式）で得ること。

なお、承諾が得られなかった場合は、局へ報告して指示に従うこと。

カ 指定所在一覧リストに中止中と表示されているものの取扱い

(ア) 現場における聞き込み等によって、所有者等に対して今後の使用見込みの有無を確認できたものは、その結果を給水管取付替リストに記入すること。

なお、使用見込みが有るものは、本項ア、イにより処理すること。

(ウ) 使用見込みの無いものは、取付替えの対象外とする。

(エ) 空き家や更地等で所有者等が不明などのため、使用見込みが確認できないときは、現場の状況等（給水装置の一部が撤去されている、長期にわたって中止になっているなど）を局へ報告して指示に従うこと。

4 設計図等の作成

(1) 調査結果を基に、「給水管工事設計図及び完成図等作成要領」により設計図を作成すること。

(2) 道路管理者提出用（道路占用申請許可申請書添付用）図面（内訳書含む。）を作成するよう局から指示があった場合は、次により指示された部数を作成すること。

ア 作成図面

(ア) 国道用

設計図を用いる。

(イ) 建設局用

設計図を用いる。

(ウ) 区役所用

水道管管理図を用いる。

(エ) 市役所、町役場用

設計図を用いる。

イ 作成方法

(ア) 設計図又は水道管管理図

道路部分の給水管を次のように色別すること。

- ・新設：赤色の色鉛筆又はインクペン（蛍光ペン等）
- ・撤去：黄色の色鉛筆又はインクペン（蛍光ペン等）

(イ) 内訳書

占用物件内訳書に必要事項を記入すること。

5 設計図等の提出

完成した設計図を給水管取付替リスト、承諾書等とともに局に提出すること。

なお、局から貸与する資料については、貸与資料管理表を作成するとともに、適正に管理を行い、使用後は局へ返却すること。

第13 給水管工事設計図及び完成図等 作成要領

給水管工事設計図及び完成図等作成要領

1 総合図方式による設計図及び完成図作成方法

次の工事等により総合図方式で設計図及び完成図を作成する場合は、「第12 給水管取付替設計要領」に準じるほか、下記によること。

- ・ 配水小管新設又は布設替工事に伴う給水管取付替工事等
- ・ 舗装打替等に伴う給水管取付替工事等

なお、製図一般、記号、線の一般的用法その他ここに定めのないものは、JIS Z 8310～18、土木学会「土木製図基準」及びその他関係規格規定によるものとする。

(1) 図面の大きさ及び紙質

ア 図面の大きさ

(ア) 配水小管新設又は布設替工事に伴う給水管取付替工事の図面

図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA1とする。

(イ) 舗装打替工事等に伴う給水管取付替工事の図面

図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA1、A2又はA3のいずれかとする。

大きさの呼び方	A1	A2	A3
縦×横 (mm)	594×841	420×594	297×420

イ 紙 質

(ア) 原紙

つや消しトレーシングペーパーを用いる。

(イ) 複写図

a 設計図

PPC式複写（白焼き）又はジアゾ式複写（青焼き）とする。

b 完成図

保管用は、製図用和紙、ジライト和紙又はケミカル和紙とし、水道管管理図修正用はPPC式複写（白焼き）又はジアゾ式複写（青焼き）とする。

(2) 提出部数

設計図及び完成図を次のとおり提出すること。

ア 設計図 原 図：1部

複写図：2部

イ 完成図 原 図：1部

複写図（保管用）：2部 （水道管管理図修正用）：1部

なお、設計図及び完成図の複写図提出部数について、監督員より指示があった場合は、その部数を提出すること。

(3) 表示方法

ア 地形、寸法、表示等は、原則として鉛筆書きとする。

なお、線及び文字を鉛筆書きする場合はJIS S 6005（鉛筆、色鉛筆及びシャープペン）に用いる
芯）HB、F又はHを使用すること。

- イ 鉛筆書きの場合、線及び文字は、かすれ、太さの不整合のないようにし、特に寸法線、中心線等の細線はなるべく濃く明確に書くこと。
- ウ 文字は楷書で明確に書くこと。

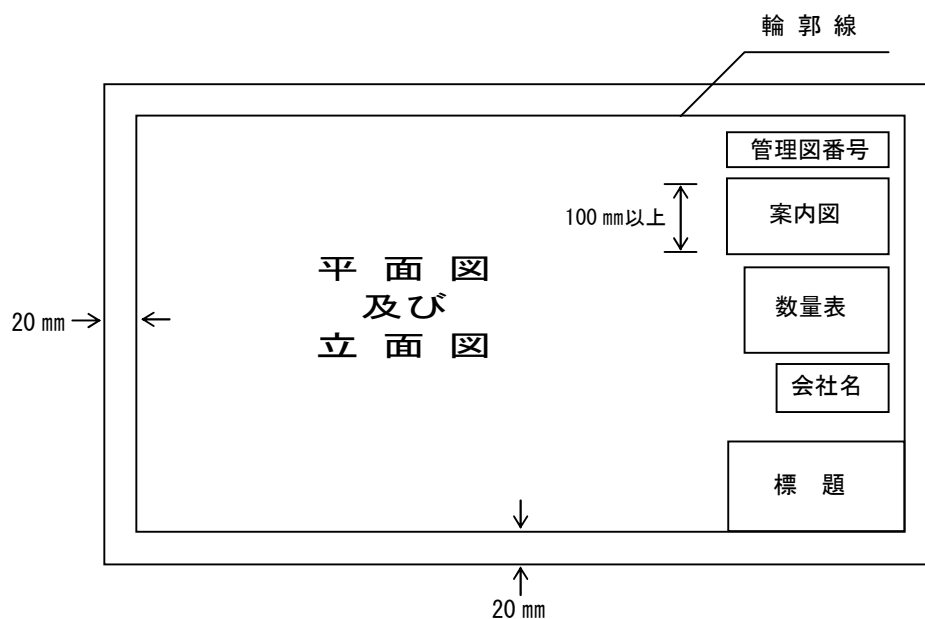
(4) 図面の構成

ア 設計図

水道管管理図番号、案内図、工事総括数量表、標題及び平面図とする。ただし、監督員の指示があった場合は、これに立面図及び会社名を記載すること。

イ 完成図

水道管管理図番号、案内図、工事完成数量表、会社名、標題、平面図及び立面図とすること。



(5) 記載方法

ア 水道管管理図番号

水道管管理図の図面番号を記入する。

なお、当該路線が複数の管理図面にわたる場合は、次のとおり表示すること。

2 7		2 2
2 0		2 1
3 0		3 1

イ 案内図（位置図）

工事路線の所在地を示すもので、町名、丁目、番地及び目標となる著名な建物等の名称を記入すること。

案内図はA 5判程度の大きさと平面図右端上方に収めることとし、縮尺は1／5000（配水管管理図1／5000を使用）とする。

なお、平面図が数枚にわたる場合は、案内図を1枚目のみに表示し、案内図の路線に図面番号を記入すること。

ウ 工事完成（総括）数量表

図面番号を記入する。 (単位:mm)

名称	工種	口径	単位	数 量					摘要	
				/	/	/	/	合計		
給水管	新 設	φ 5 0	栓							7
〃	〃	φ 4 0	〃							7
〃	〃	φ 3 0	〃							7
〃	〃	φ 2 5	〃							7
〃	〃	φ 7 5	箇所							7
合 計										7
給水管	撤 去	φ 5 0	栓							7
〃	〃	φ 4 0	〃							7
〃	〃	φ 3 0	〃							7
〃	〃	φ 2 5	〃							7
〃	〃	φ 1 3	〃							7
〃	〃	φ 7 5	箇所							7
合 計										7

※ 不要な行及びます目は削除してもよい。

エ 標題欄

標題欄は、図面の右下隅に設けること。

なお、標題欄の上部又は側部に受注者欄を設けること。

(ア) 受注者欄：設計図

受 注 者	〇〇会社〇〇〇建設
作 成 年 月	平成〇〇年〇〇月

↑

50 mm以内

↓

100 mm以内

(イ) 受注者欄：完成図

受 注 者	東京都〇〇区〇〇〇丁目〇番〇号 〇〇会社〇〇〇建設 代表取締役 〇 〇 〇 〇 ㊟
現場代理人	〇 〇 〇 〇 〇 ㊟
給水装置工事主任技術者	〇 〇 〇 〇 (免状番号第〇〇〇〇号)
提 出 日	平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

↑

50 mm以内

↓

100 mm以内

(ウ) 標題欄：設計図

工事件名		〇〇区〇〇〇丁目〇番地先から同区 〇〇〇丁目〇番地先間 配水小管〇〇〇工事									
図 名		案内図 給水管取付替平面図									
工事場所		〇〇区〇〇〇丁目〇番地先から 同区〇〇〇丁目〇番地先間									
種 別		設計図									
事 業 別		〇〇工事				工事番号		第〇〇〇〇〇〇〇号			
縮 尺	図 示		設 計 年 月	平成〇〇年〇〇月						図 番	〇 / 〇
	課 長		課 長 代 理 〇〇 担 当		課 長 代 理 〇〇 担 当		担 当 者				
東京都水道局〇〇〇支所〇〇課											
				配水管		/		給水管		/	

105 mm

7~10 mm

20mm 100mm

(エ) 標題欄：完成図

工事件名		〇〇区〇〇〇丁目〇番地先から同区 〇〇〇丁目〇番地先間 配水小管〇〇〇工事									
図 名		案内図 工事完成数量表 給水管取付替平面図 立面図									
工事場所		〇〇区〇〇〇丁目〇番地先から 同区〇〇〇丁目〇番地先間									
種 別		完成図									
工事番号		第〇〇〇〇〇〇〇号									
縮 尺	図 示		工 期	着手日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 完成日 平成〇〇年〇〇月〇〇日						図 番	〇 / 〇
支 所 長	課 長		課 長 代 理 〇〇 担 当		課 長 代 理 〇〇 担 当		監 督 員			照 合	
東京都水道局〇〇〇支所〇〇課											
工事監督員 〇〇 〇〇				配水管		/		給水管		/	

105 mm

7~10 mm

20mm 100mm

(オ) 給水管工事事務所で施工した場合の決裁欄例

支 所 長	課 長		課長代理	課長代理	監 督 員	給水管工事事務所			照 合
			工務担当	技術調整担当		所 長	担 当 者		

120mm 程度

(カ) 工事監督業務を委託している場合の決裁欄例

支 所 長		課 長		統括課長代理	課長代理	工事監督業務受託者				照 合	
				工務担当	工事指導担当	総括監督員		副総括監督員	監督員		

← 120mm 程度 →

カ 平面図

(ア) 縮尺

縮尺は1／100～1／500程度とし、1／250を標準とする。なお、縮尺は標題欄の該当か所に記入し、同一図面に異なる縮尺を用いる場合は、各図ごとにその縮尺を記入すること。

(イ) 方 位

案内図、平面図、には方位を入れ、原則として「北」を上方にして作図すること。

(ウ) 道路形態及び道路幅員

a 道路の区分

道路には、国道、都道、区道、私道等の区別、歩車道の区別及び公私境界を表示すること。

b 工事周辺地区の番地

施工箇所周辺の町名、丁目及び番地を大きく見易く表示すること。

c 道路幅員

U形溝又はL形溝がある場合は、その幅を含めて道路幅員とすること。

また、U形溝、L形溝の幅も記入すること。

(エ) 敷地及び建物の輪郭

敷地及び建物の輪郭は、住宅地図等を参考に現地を確認し作図すること。

なお、民地境界は一点鎖線で細く（太さ0.1mm）表示すること。

(オ) 平面図が複数枚にわたる場合

平面図が複数枚にわたる場合は、図面と図面のつながりの部分に① — ①断面 2／5 図へ続く、② — ②断面 3／5 図へ続く等と表示すること。

(カ) 配水管の表示

新設又は既設配水小管の口径、管種、制水弁、消火栓、集中分岐管等を表示すること。

また、配水管のオフセットも記入すること。

(キ) 給水管の表示

新設管、撤去管及び既設管の口径、管種、仕切弁、メータ、分岐位置及び第一仕切弁のオフセット、メータ口径、お客さま番号等を記入すること。

(ク) 工業用水道管布設路線、下水再生水管布設路線又は井戸等導水管布設路線の場合

a 布設路線の表示

現場状況に応じて、工業用水道管布設路線、下水再生水管布設路線又は井戸等導水管布設路線であることを図面の分かりやすい場所に記入すること。

ｂ 水質検査結果の表示

対象水の採取場所及び残留塩素濃度を記入すること。

キ 立面図

(ア) 縮尺に関係なく、概ね30又は45°の角度を用いて、判りやすく表すこと。

(イ) 原則として平面図の給水管表示の直近に表示すること。ただし、直近に表示できない場合は、給水管ごとに索引番号を付け余白に表示すること。




(ウ) 配管の方向はなるべく同じ方向に向けて表示すること。

(6) 給配水管の図示方法

工事に関連する配水小管と給水管の配管形態を図示すること。

ア 配水管の図示

(ア) 新設管・既設管の表示

配水小管 (新 設)	 (実 線、太さ 0.6mm)
〃 (既 設)	 (一点鎖線、〃 0.4mm)
〃 (撤 去)	 (破 線、太さ 0.4mm)

(イ) 配水管の管種表示

鑄 鉄 管 (メカニカル)	F C A	消 火 栓	
ダクタイル鑄鉄管 (メカニカル)	F C D . A	制 水 弁	
ダクタイル鑄鉄管 (K 形)	F C D . K	集 中 分 岐 管	
ダクタイル鑄鉄管 (タ イ ト ン)	F C D . T	簡 易 排 水 栓	
ダクタイル鑄鉄管 (耐震用NS形)	F C D . NS	地 下 式 排 水 栓	
ダクタイル鑄鉄管 (耐震用SII形)	F C D . SII	ダクタイル鑄鉄管 (GX形)	F C D . GX



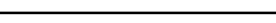
※ 内面粉体ダクタイル鑄鉄管については、継手表示部分を□で囲むこと。

(F C D . SII 又は F C D . NS)

※ 上記以外の管種表示については、監督員の指示による。

イ 給水管の図示

(ア) 新設管・既設管及び撤去管の表示

給水管 (新 設)	 (実 線、太さ 0.4mm)
〃 (既 設)	 (破 線、太さ 0.4mm)
〃 (撤 去)	 (実 線、太さ 0.1mm)

(イ) 口径・管種の表示

給水管にひっかけ線又は引出し線を設け、口径及び管種を表示するほか、次の記号を記入すること。

- ・ 新 設 新
- ・ 撤 去 テ

(ウ) 給水管の管種表示

ステンレス管	S S P	ダクタイル鋳鉄管	F C D. ○○
鉛管	L P	石綿セメント管	A C P
ビニル管	V P	仕切弁（都規格）	
鋼管	G P	仕切弁（都仕様：ボール止水栓）	
銅管	C P	メータ	
波状ステンレス鋼管	C S S P	メータハイパスユニット	

※ 仕切弁 B 及びメータ表示記号直近の下流側には口径を表示する。

※ 内面粉体塗装ダクタイル鋳鉄管については、継手表示部分を□で囲むこと。

（F C D. S II 又は F C D. N S）。

※ 避難所における応急給水栓設置をする場合は、ア（イ）配水管の管種表示にある簡易排水栓の表示を使用すること。

※ 上記以外の管種表示については、監督員の指示による。

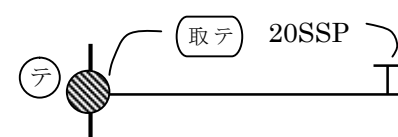

(7) お客さま番号等の表示方法

設 計 図	完 成 図
①取付替栓の表示	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> お客さま番号 使用者名 住 所 </div> <p>※枠で囲むこと。 ※連合給水管の場合は、幹栓を表示すること。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">※残留塩素濃度○○mg/ℓ</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">○</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> お客さま番号 使用者名 住 所 施 工 年 月 日 </div> </div> <p>※水質検査（残留塩素濃度測定）対象工事は配水小管布設（φ50mmを含む。）と同時に、当該配水小管から分岐を行ったものを除く。 ※枠で囲むこと。 ※連合給水管の場合は、幹栓を表示すること。 ※図面ごとに給水管の通し番号（索引番号）を付け、○の中に記入すること。 ※工業用水道管布設路線、下水再生水管布設路線又は口径350mm以下の井戸等導水管布設路線で採取した対象水についても、採取した場所と残留塩素濃度を記入すること。</p>
②支分栓、又は舗装打替路線等において取付替を行わないもの	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> お客さま番号 使用者名 住 所 </div> <p>※枠で囲まないこと。 ※アパート等で幹栓と同住所のものは住所を省略すること。</p>	<p style="text-align: center;">＜平面図図示例＞</p>

③長期中止等で、取付替を行うもの

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> お客さま番号 (中止中) 住 所 中止年月日 </div> <p>※破線枠で囲む。 ※連合給水管の場合は、幹栓を表示すること。</p>	<p style="text-align: center;">※残留塩素濃度〇〇mg/ℓ</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin-right: 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> お客さま番号 (中止中) 住 所 施工年月日 </div> </div> <p>※水質検査（残留塩素濃度測定）対象工事は配水小管布設（φ50mmを含む。）と同時に、当該配水小管から分岐を行ったものを除く。 ※枠で囲むこと。 ※連合給水管の場合は、幹栓を表示すること。 ※図面ごとに給水管の通し番号（索引番号）を付け、○の中に記入すること。 ※工業用水道管布設路線、下水再生水管布設路線又は井戸等導水管布設路線で採取した対象水についても、採取した場所と残留塩素濃度を記入すること。</p>
---	---

④長期中止等で、取付替を行わないもの

<p>ア 中止栓を撤去する場合</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> お客さま番号 (中止中) 住 所 中止年月日 </div> <p>※破線枠で囲むこと。</p>	<p>ア 中止栓を撤去する場合</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin-right: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">テ</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> お客さま番号 (中止中) 住 所 施工年月日 </div> </div> <p>※破線枠で囲むこと。 ※長期中止栓を撤去した場合は㊦と表示すること。</p> <p>長期中止栓を撤去した場合は、撤去部に●及び㊦、給水管に(取テ)を表示すること。</p> 
<p>イ 不明栓を撤去する場合</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 住 所 口 径 </div> <p>※破線枠で囲むこと。</p>	<p>イ 不明栓を撤去した場合</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin-right: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">テ</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> 住 所 口 径・管 種 </div> </div> <p>※破線枠で囲むこと。 ※不明栓を撤去した場合は㊦と表示すること。</p> <p>不明栓を撤去した場合は、撤去部に●及び㊦、給水管に(不明栓テ)と表示すること。</p> 

(8) オフセットの記入方法

ア 設計図の場合

基点を2点以上用いて、給水管の分岐位置又は撤去位置までの距離、及び各給水管の距離を記入すること。

なお、基点は公道の曲がり角、公私境界等移動又は撤去のおそれのないものとする。

イ 完成図の場合

(ア) 基点を2点以上用いて、給水管の分岐位置までの距離、及び各給水管の距離を、道路角、消火栓、制水弁等を含めて測定・記入すること。

なお、基点は公道の曲がり角、公私境界等移動又は撤去のおそれのないものとする。

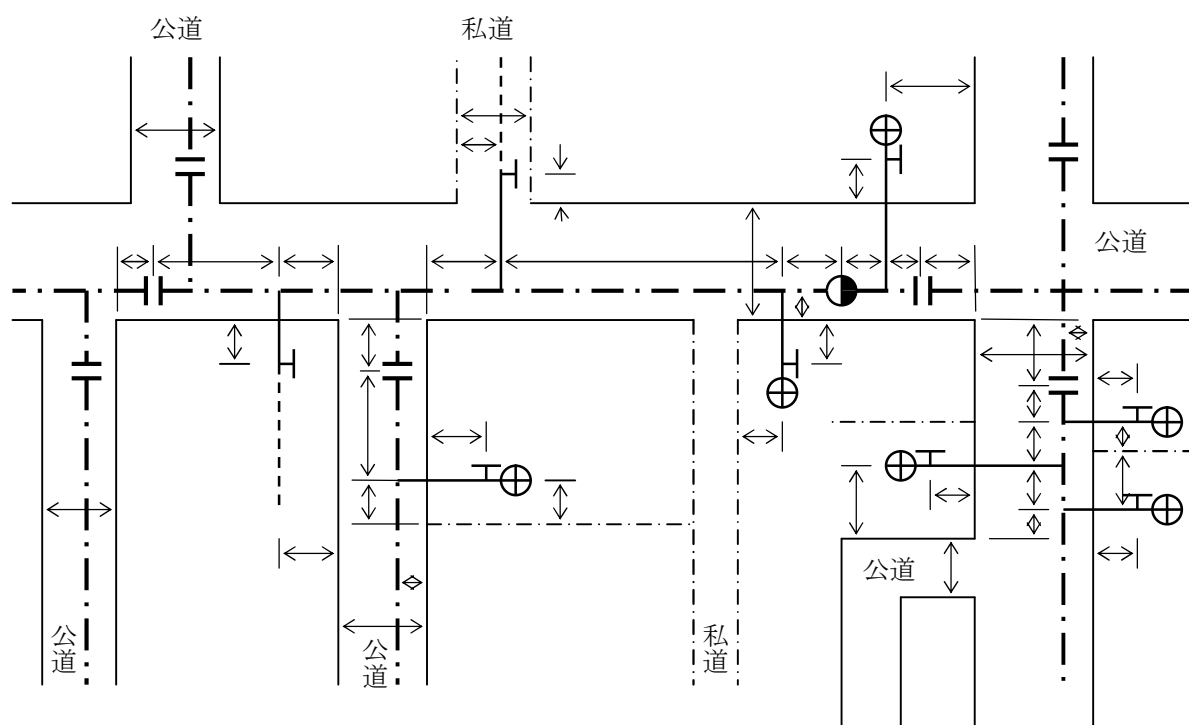
(イ) 第一止水栓の位置を公私境界、隣地境界等から2点以上測定・記入すること。

(ウ) 配水小管の位置は公私境界から測定・記入すること。

ウ 表示単位

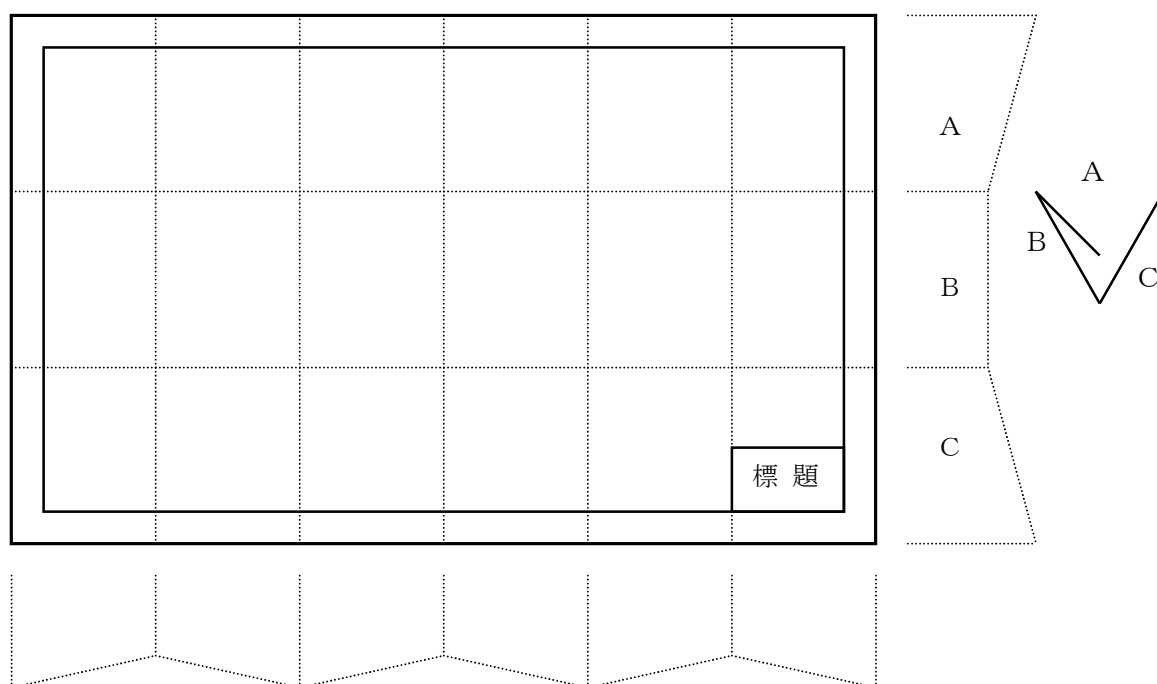
道路幅員、給水管の布設延長等はm(メートル)で表示し(小数点第2位を四捨五入して小数点第1位で表示)、管及びメータの呼び径はmm(ミリメートル)で表示すること。

(オフセットの測定位置例)



(9) 図面の折り方

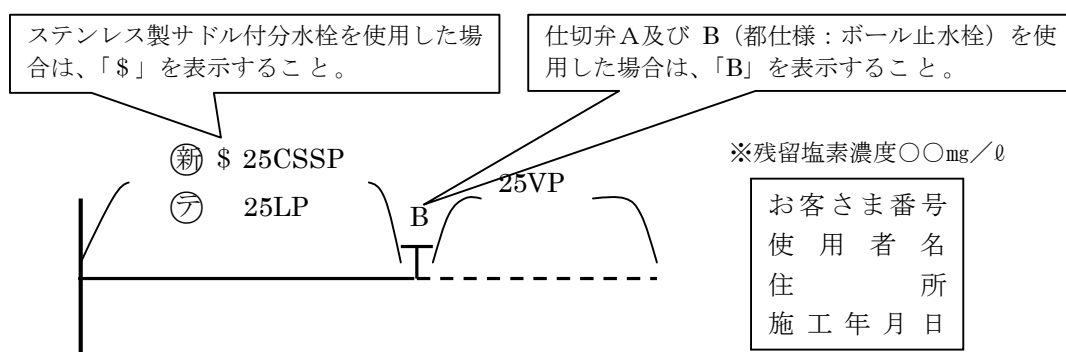
図面は原図、複写図とも下図のとおり折りたたみ標題を外に出すこと。



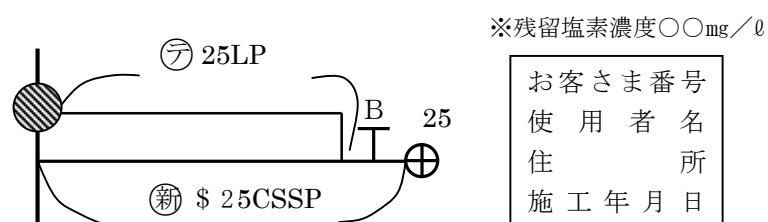
2 平面図の具体的な記載方法

(1) 新設管及び撤去管の位置が同一の場所の場合

撤去新設の場合は一本線で表示し、ひっかけ線又は引出し線を設け ㊦、㊧ と表示をすること。

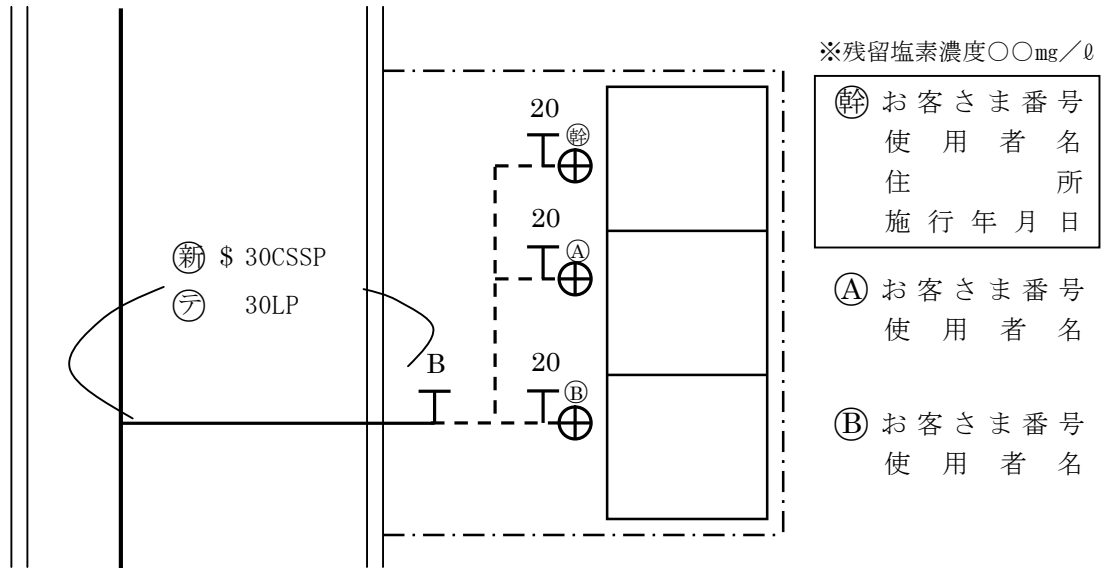


(2) 新設管及び撤去管の位置が異なる場合

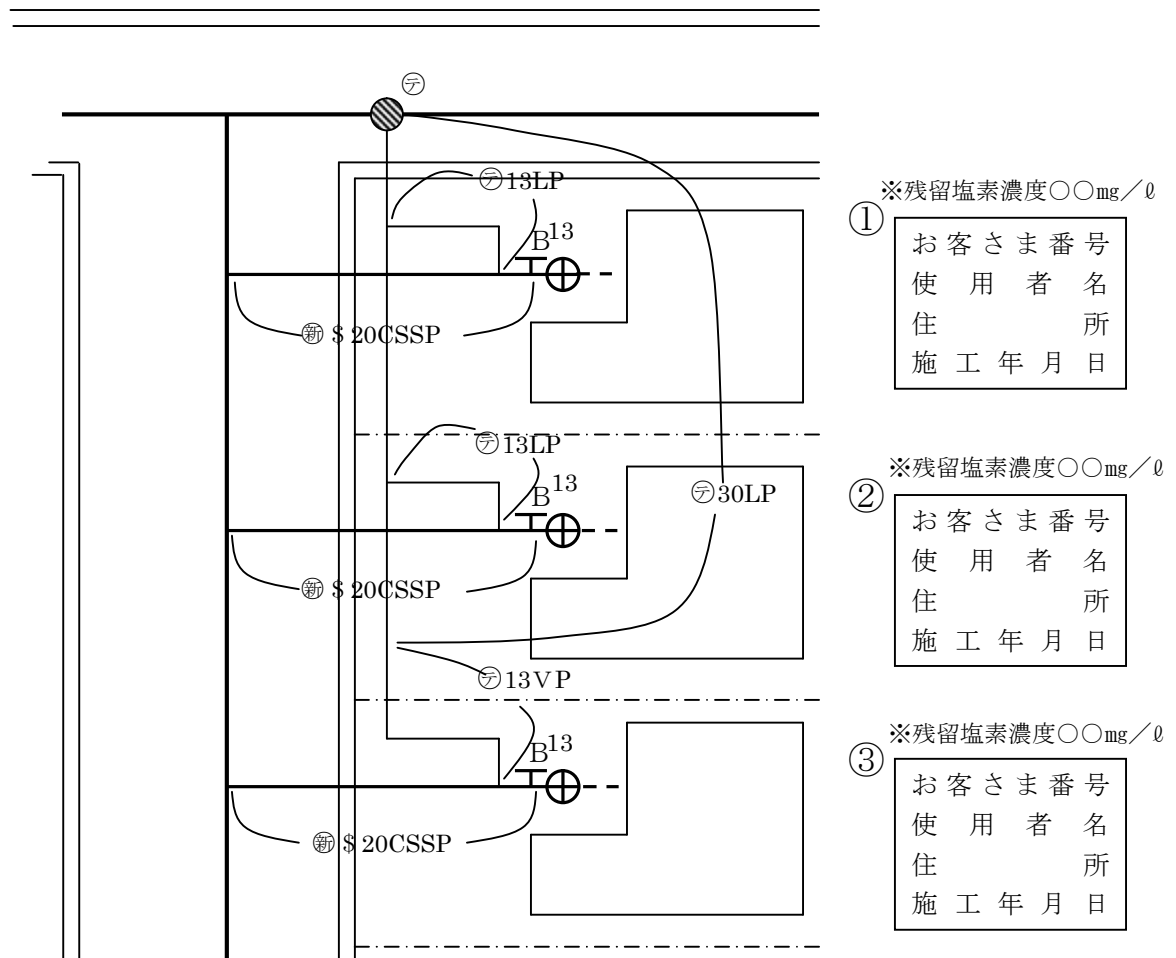


※ 分水栓撤去した場合は、撤去部に ㊦ 印をし、㊧ と表示すること。

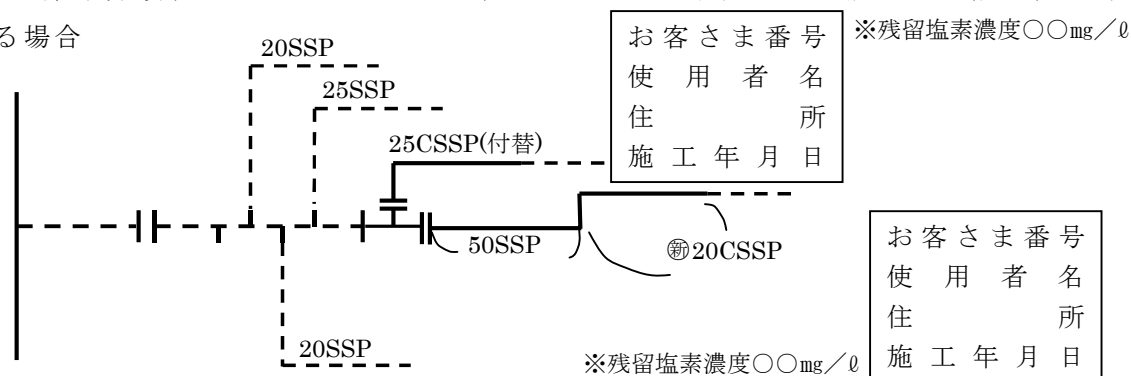
(3) 連合給水管の場合



(4) 連合給水管を解消して単独栓にした場合

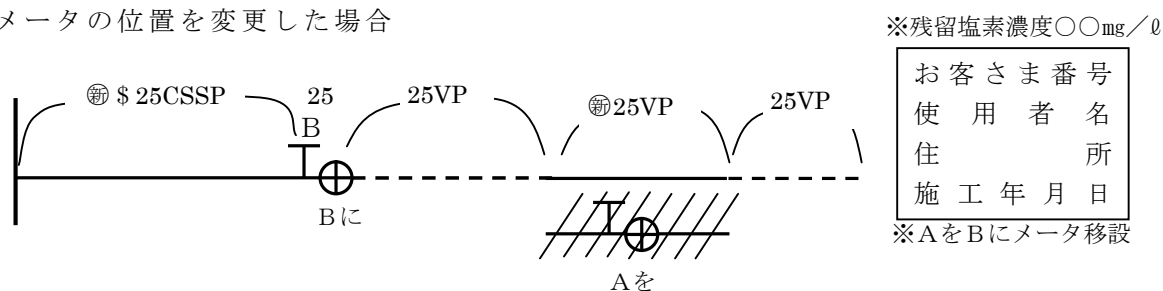


- (5) 既設の集中分岐管から三フランジT字管及びソケット付絶縁フランジ継手により給水管を新設する場合

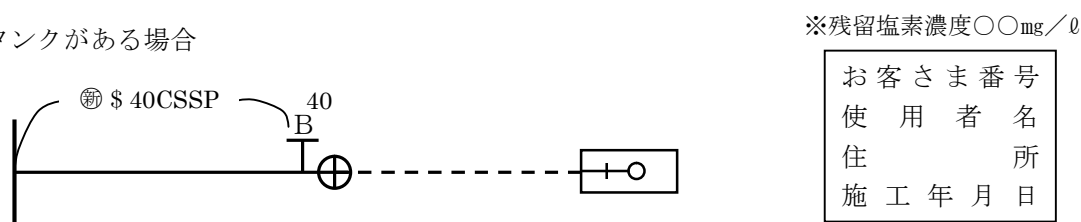


※ 平面図が小さくて表示できない場合は、余白に拡大図を表示すること。

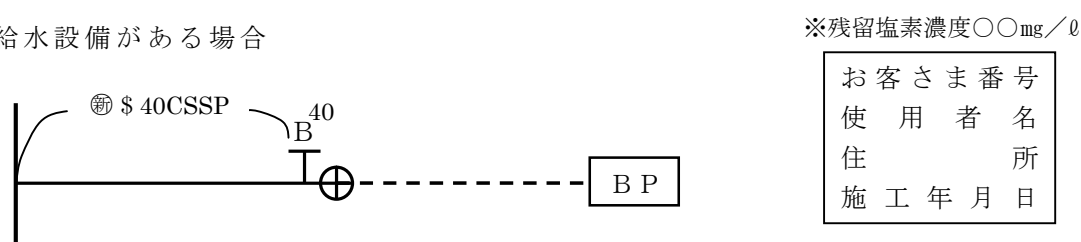
- (6) メータの位置を変更した場合



- (7) 受水タンクがある場合



- (8) 増圧給水設備がある場合



- (9) 75mm以上の給水管の表示

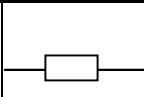


当該路線に75mm以上の給水管がある場合は、75mm以上の給水管も表示すること。

- (10) メータ補足管をショートサイズに取り替える場合

平面図メータ表示記号の下に「取替」と表示すること。

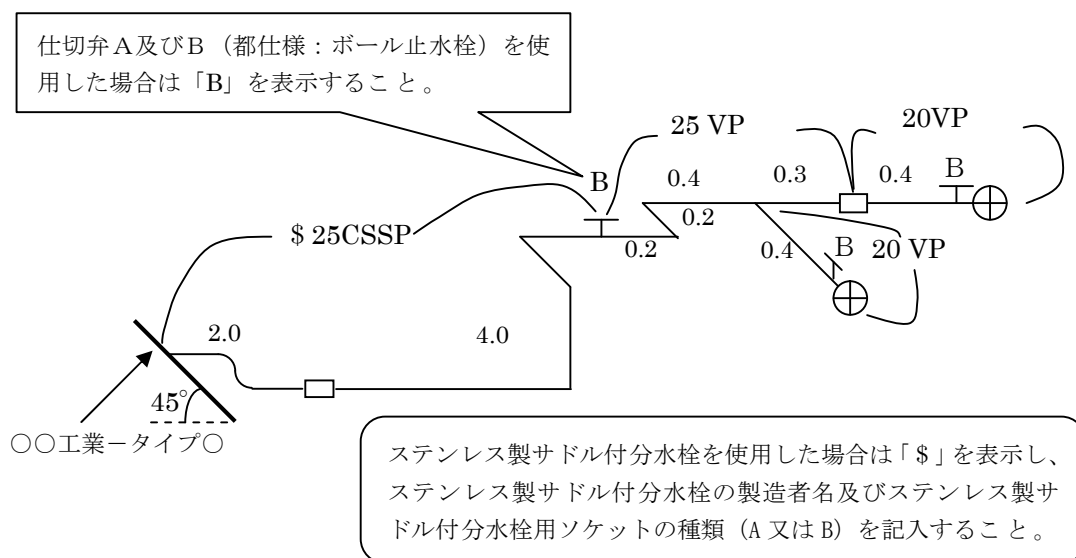
3 立面図の具体的な記載方法

(1) 表示方法は、下記のように表示すること。

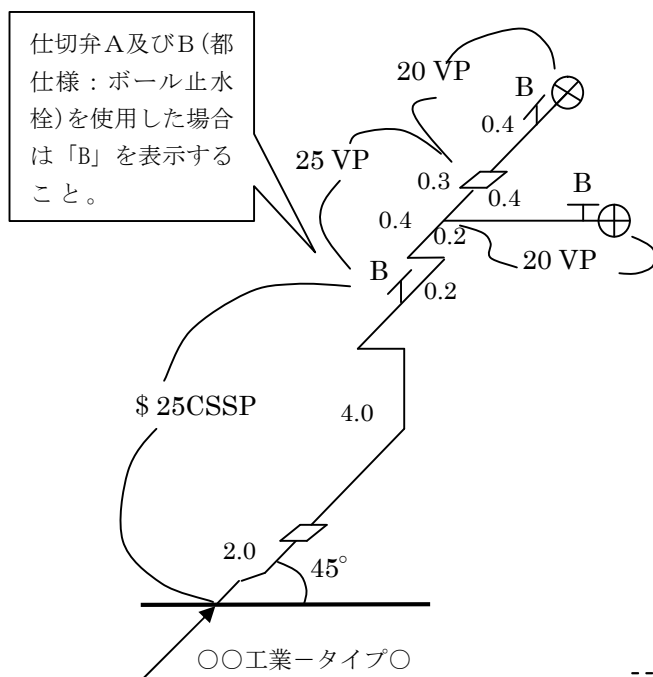
ソケットを使用した場合		エルボを使用した場合		ソケット・エルボとも使用なかった場合	
-------------	---	------------	---	--------------------	---

(2) 立面図の表示方法

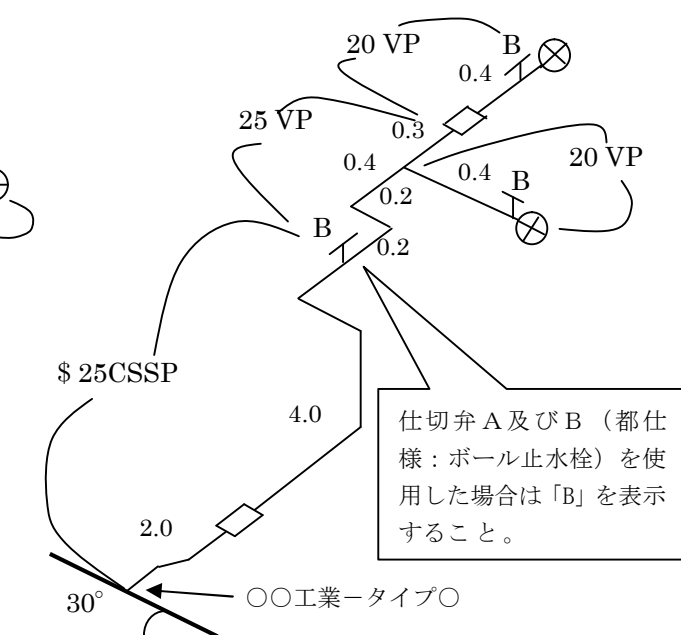
《配水小管を45°で表示した場合》



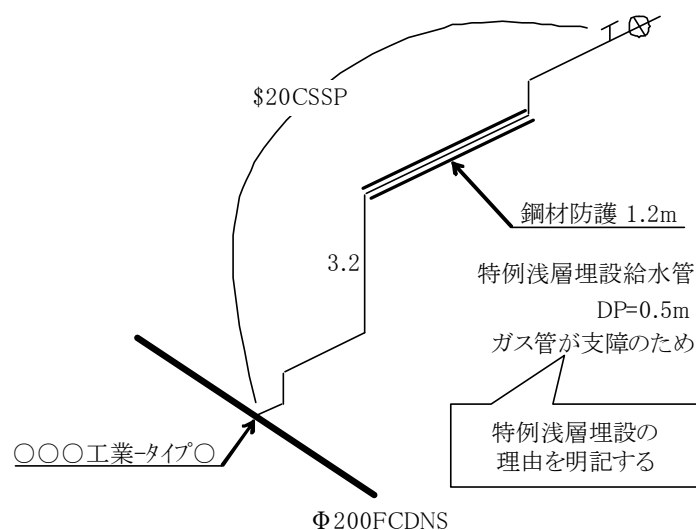
《給水管を45°で表示した場合》



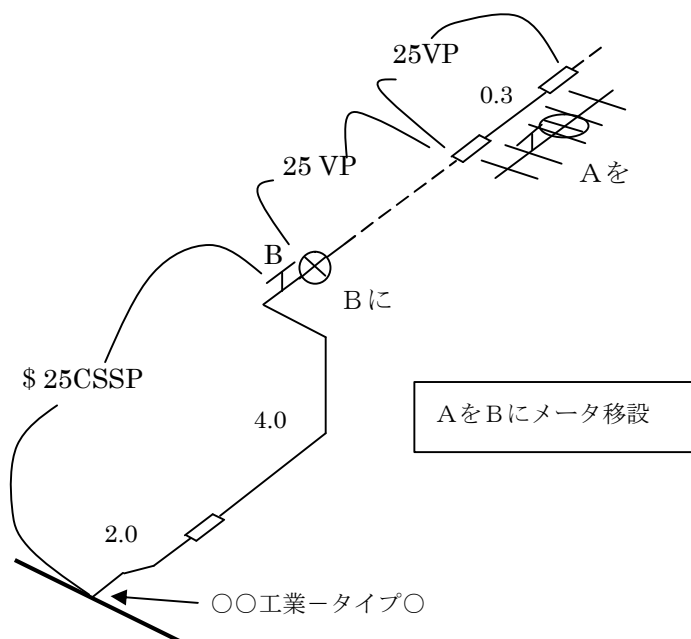
《配水小管を30°で表示した場合》



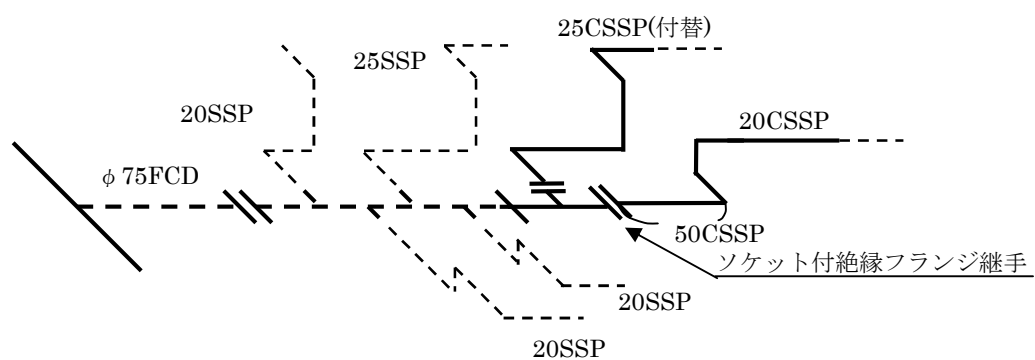
《 国道上における特例浅層埋設給水管の防護を行った場合 》



《 メータ移設をした場合 》



《 既設の集中分岐管から三フランジ T 字管 及びソケット付絶縁フランジ継手により給水管を新設した場合（45° 方式） 》



※ 集中分岐管に取り付けた場合は、できるだけ管が交差しないよう表示すること。

4 単独給水管工事等の設計図及び完成図作成方法

総合図方式以外で設計図及び完成図を作成する場合は、「指定給水装置工事事業者工事施行要領（給水装置設計・施工基準）」に準じるほか、作成例を参考とし、下記によること。

（１） 図面の大きさ及び紙質

ア 図面の大きさ

（ア）設計図は、図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA3又はA4程度とし、工事調書（給水装置様式9）の流用も可とする。

紙質は、普通紙、製図用和紙、ジライト和紙又はケミカル和紙とする。

（イ）完成図は、給水装置工事施工票（給水装置様式1：給水装置工事施工承認申込書の裏面）を使用するほか、図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA3又はA4程度とする。

紙質は、原図については給水装置工事施工票を除き、製図用和紙又はジライト和紙とする。

保管用については製図用和紙、ジライト和紙又はケミカル和紙とし、水道管管理図修正用については、PPC式複写（白焼き）とする。

（２） 提出部数

設計図及び完成図を次のとおり提出すること。

ア 設計図 原 図：１部

イ 完成図 原 図：１部

複写図（保管用）：１部 （水道管管理図修正用）：１部

ただし、局が設計図（工事調書）を作成する場合は、完成図の複写図（保管用）は提出不要とする。

なお、設計図及び完成図の複写図提出部数について、監督員より指示があった場合は、その部数を提出すること。

（３） 表示方法

給水装置工事施工票を完成図として使用する場合は、鉛筆書きとし、JIS S 6005（鉛筆、色鉛筆及びシャープペンに用いる芯）HB、F又はHを使用すること。

なお、線及び文字は、かすれ等に注意し、明確に書くこと。

（４） 図示範囲等

ア 局（受注者）が施行する箇所は実線とすること。

イ 既設管との接続まで施行した場合は、既設管を破線表示とし、ひっかけ線又は引出線により、口径・管種と、必要に応じて「指定事業者施行」の語句を記入すること。

ウ 設計図には道路掘削図（平面図及び断面図）及び道路復旧予定図（復旧構造図等）を記入すること。

なお、完成図については、不要とする。

(5) 標題欄

設計図、給水装置工事施工票以外の完成図を作成する場合は、標題欄を設けること。

ア 設計図

〇〇〇〇〇工事	
水道所在地	〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号
お客さま番号	〇〇-〇〇〇〇〇〇-〇〇
申込者名	〇〇〇設備(株)(※1)
指定給水装置工事事業者 (委任代理人)	〇〇〇設備 有限会社(※1)
受注者名	〇〇〇工業 株式会社

※1 受託施行の場合記入すること。

イ 完成図

〇〇〇〇〇工事 完成図	
水道所在地	〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号
お客さま番号	〇〇-〇〇〇〇〇〇-〇〇
受注者名	東京都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番 〇〇〇工業 株式会社
完成年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日

残留塩素濃度：〇.〇mg/ℓ

5 取付替工事調書等の作成方法

完成図を保管するために使用する取付替工事調書（給水装置様式235）、保管用袋（工事調書：給水装置様式9を使用して作成）及び給水装置工事施行承認申込書及び給水装置工事施工票（給水装置様式1）の作成方法については、作成例を参考とし、下記によること。

(1) 提出部数

ア 総合図方式による完成図の場合

取付替工事調書（送付用）：2部 保管用袋（施工部所保管用）：1部

イ 単独給水管工事等の完成図の場合

保管用袋（送付用）：1部

給水装置工事施行承認申込書及び給水装置工事施工票（施工部所保管又は送付用：施工部所が保管しない場合）：1部

なお、保管用袋について監督員より指示があった場合は、その部数を提出すること。

(2) 取付替工事調書記入事項

ア 受付年月日

施行通知年月日を記入すること。

イ 施工部所

工事施工部所名を記入すること。

ウ 工事件名

工事件名を記入すること。

エ 工事番号

工事番号又は指示番号を記入すること。

オ 着手・完工年月日

着手年月日、完工年月日を記入すること。

カ 取付替件数

工事件名に記載されている所在地の先頭となるお客さま番号を記入し、他の取付替実施件数を記入すること。

キ 受注者

受注者名を記入すること。

ク 備考（取付替場所案内）

完成図を確認し、図面が複数作成されている場合は、その図面ごとの住所及び図面番号を記入すること。

（記入例）

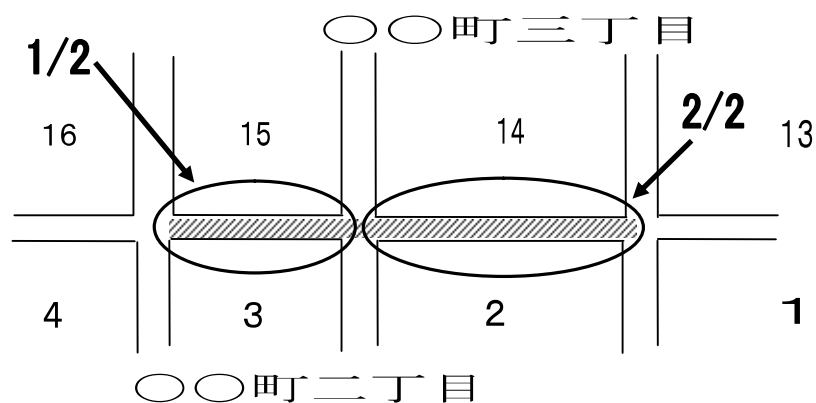
○ ○ 町	1 -	1 ~ 3	1/3
△ △ 町	3 -	15 ~ 20	2/3
□ 町	5 -	5 ~ 9	3/3

ケ 案内図の表示

裏面の枠内に、工事路線の案内図を貼り付ける。

なお、記入例のように当該路線を区別し、図中に図面番号を記入する。

（記入例）



(3) 保管用袋（工事調書）記入事項

ア 受付

局に工事申込があった場合は、受付年月日を記入すること。

イ お客さま番号

お客さま番号を記入すること。

ウ 申込者

使用者名を記入すること。

エ 水道所在

工事場所の住所を記入すること。

オ 着手・完工年月日

着手年月日、完工年月日を記入すること。

カ 工事件名

工事件名を記入すること。

キ 施工部所

工事施行部所と保管部所が異なる場合は、工事施工部所名を記入すること。

ク 受注者

受注者名を記入すること。

(4) 給水装置工事施行承認申込書及び給水装置工事施工票記入事項

ア 氏名

使用者名を記入すること。

イ 工事場所

工事場所の住所を記入すること。

ウ お客さま番号

お客さま番号を記入すること。

エ 工事件名

工事件名を記入すること。

オ 施工部所

工事施行部所と保管部所が異なる場合は、工事施工部所名を記入すること。

カ 受注者

「コ 施工者」を記入しない場合、受注者名を記入すること。

キ 図面

完成図の作図又は設計封筒（給水装置様式38、38-1）を貼り付けること。

ク 水道番号

「キ」に完成図を作図した場合、水道番号を記入すること。

ケ 完工年月日

「キ」に完成図を作図した場合、完成年月日を記入すること。

コ 施工者

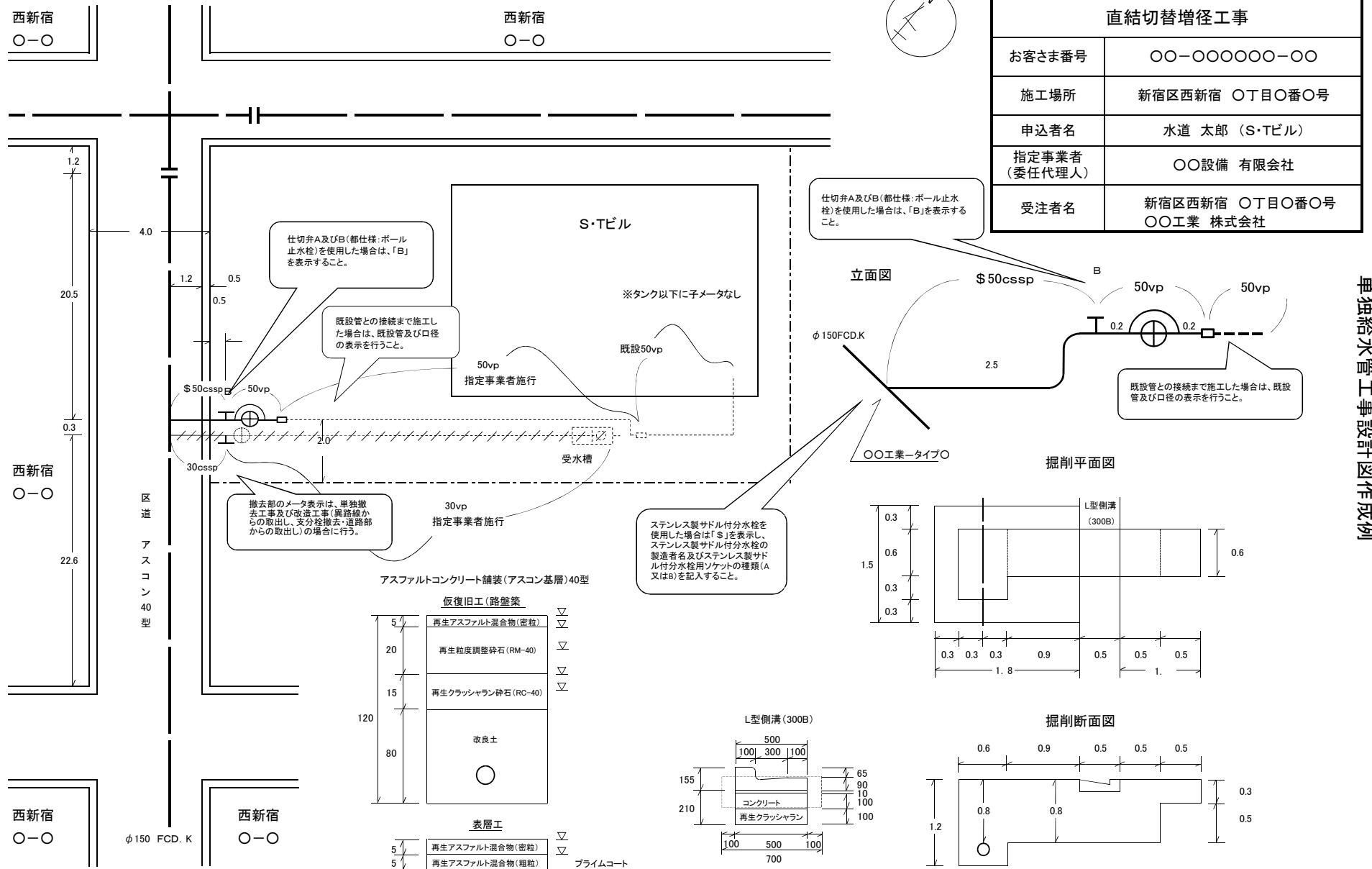
「キ」に完成図を作図した場合、受注者名を記入すること。

サ 品名及び使用員数

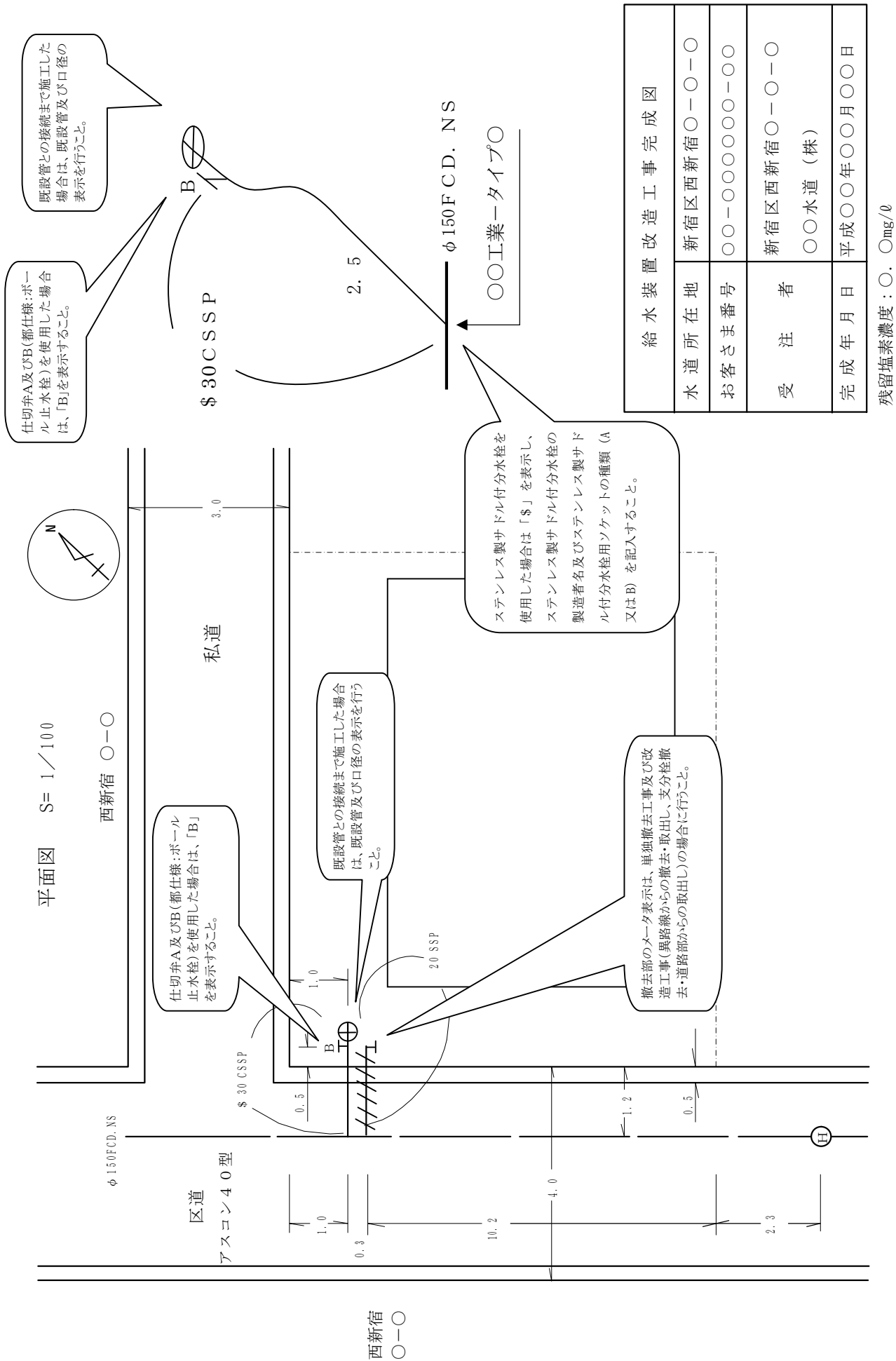
使用材料を記入すること。

シ 残留塩素濃度、測定日

測定した場合、測定値と測定日を記入すること。



単独給水管工事完成図作成例



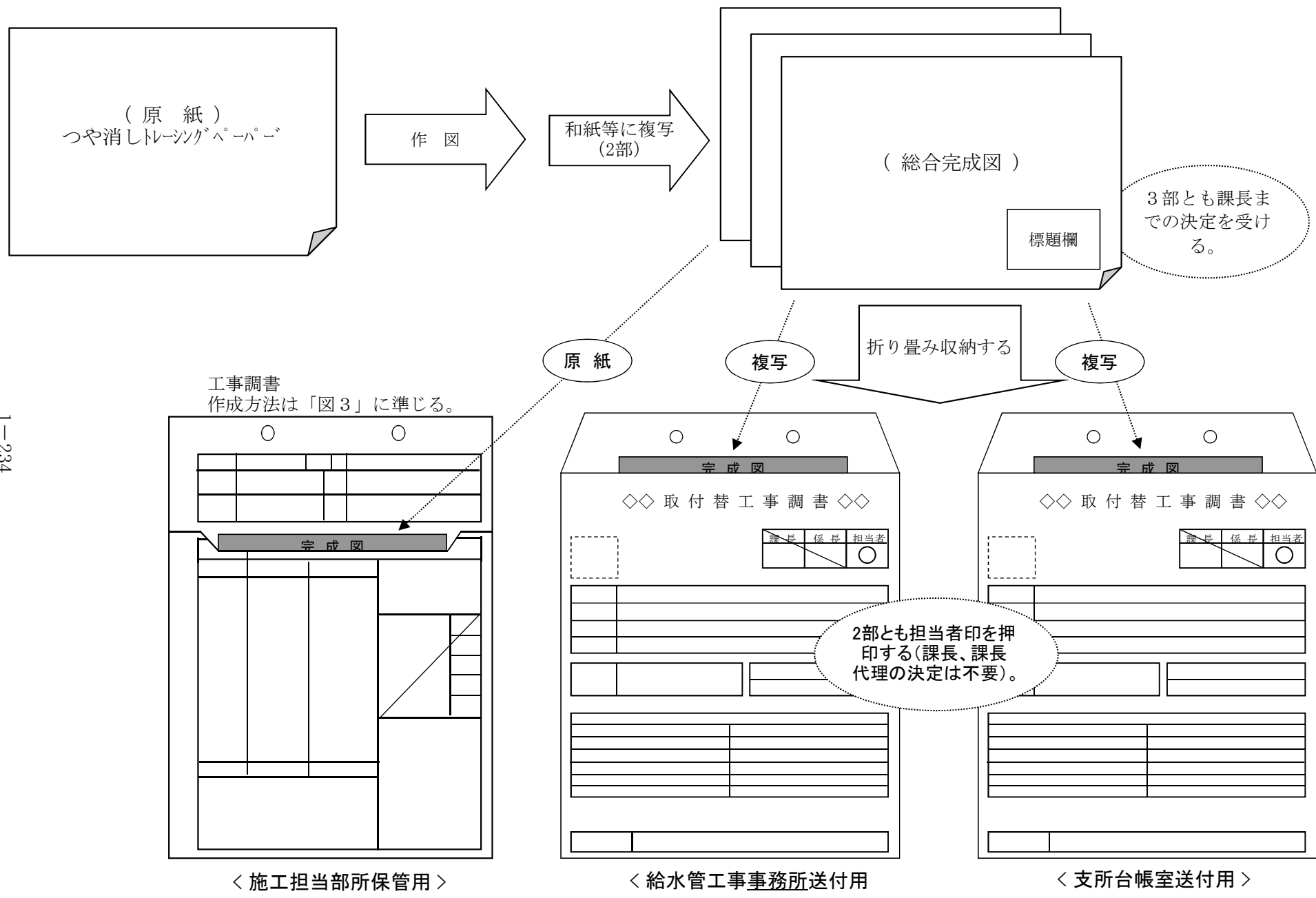
西新宿
〇—〇

単独給水管工事完成図作成例(施工票の場合)

水道番号〇〇〇〇〇〇			
平成〇〇年〇〇月〇〇日完工			
給水装置工事施工票			
受注者		担当者	
〇〇水道(株)			
課長代理			
品名	使用数	品名	使用数
150×50 サドル分水栓 (〇〇型)	1 個	メータ	個
30 サドル付分水栓用ソケット (1形B)	1 個	メータソケット ()	個
30 仕切弁A ()	1 個	メータ取付金物 ()	個
仕切弁B ()	個	メータます (用)	個
仕切弁用シモク	個		
ステンレス管	m		
30 波状ステンレス管	2.5m	16×60 ボルト	本
伸縮可とう式継手	個	× ボルト	本
エルボ	個	メータ	個
伸縮可とう式継手ソケット	個	メータパッキン	枚
13~25用 仕切弁きょう ()	本		
30~50用 仕切弁きょう ()	本	接合	個
受板	枚	ベンダー加工	箇所
		ベンダー加工管	本
25 サドル分水栓用プラグ	1 個		
分水栓止水板	個		
フランジ止	個		

残留塩素濃度	〇.〇 mg/L
測定日	〇〇年〇〇月〇〇日

	施工日	種別	口径	番 号	指 針	有効期限
取外しメータ	月 日					年 月
取付けメータ						

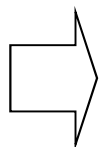


工事調書作成例 1：取付替工事調書（2本以上の場合）

＜ 工事施工票 ＞

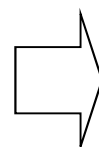
給水装置工事施行承認中込書		給水装置（新設・改造・撤去）工事申込書	
給水管整備工事	お客さまNo.	(S)	
工事場所		氏 名	
施工部所名		3連判を押	
請負者名			

（ 表 面 ）



封筒を貼付る

（ 裏 面 ）



完成図

内側に折り畳む
又は切り取る

完成図を折り畳み収納する。

完成図

（ 標 題 ）

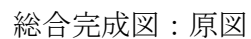
給水管〇〇工事完成図	
水道所在	
お客さまNo.	
施 工 者	
完成年月日	

給水管工事事務所保管

< 工事調書 >

この図は、工事調書の用紙のレイアウトを示しています。上部には2つの丸印があり、その下には大きな長方形の枠があります。この枠の右側には「切り取る」という注釈と、右端には「折り畳みノリで張付け袋状にする。」という注釈と、矢印が描かれています。

この図は、工事調書の用紙の詳細なレイアウトを示しています。上部には「S 表」という注釈があり、その下には「お客さま」の欄があります。続いて「氏名」と「住所」の欄があり、その下には「完成図」の欄があります。中央には「案内図」の欄があり、右側には「着手・完工月日」の欄があります。下部には「給水管整備工事」、「施工部所名」、「請負者名」、「3連判押印」の欄があります。



複写

水道管管理図修正用

保管用（給水管工事事務所又は
サービスステーション用）

保管用（支所給水課台帳室用）

総合完成図：複写図

折り畳む

折り畳む

＜ 取付替工事調書 ＞

※2部とも施行部所担当者印を押印する（課長、課長代理の決裁は不要）。

<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; border-radius: 50%;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; border-radius: 50%;"></div> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; display: inline-block;">完 成 図</div> </div>							
◇◇ 取 付 替 工 事 調 書 ◇◇							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">課 長</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">課長代理</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">担当者</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </table>	課 長	課長代理	担当者			
課 長	課長代理	担当者					

完 成 図		
◇◇ 取 付 替 工 事 調 書 ◇◇		
	課 長	課長代理 相当者

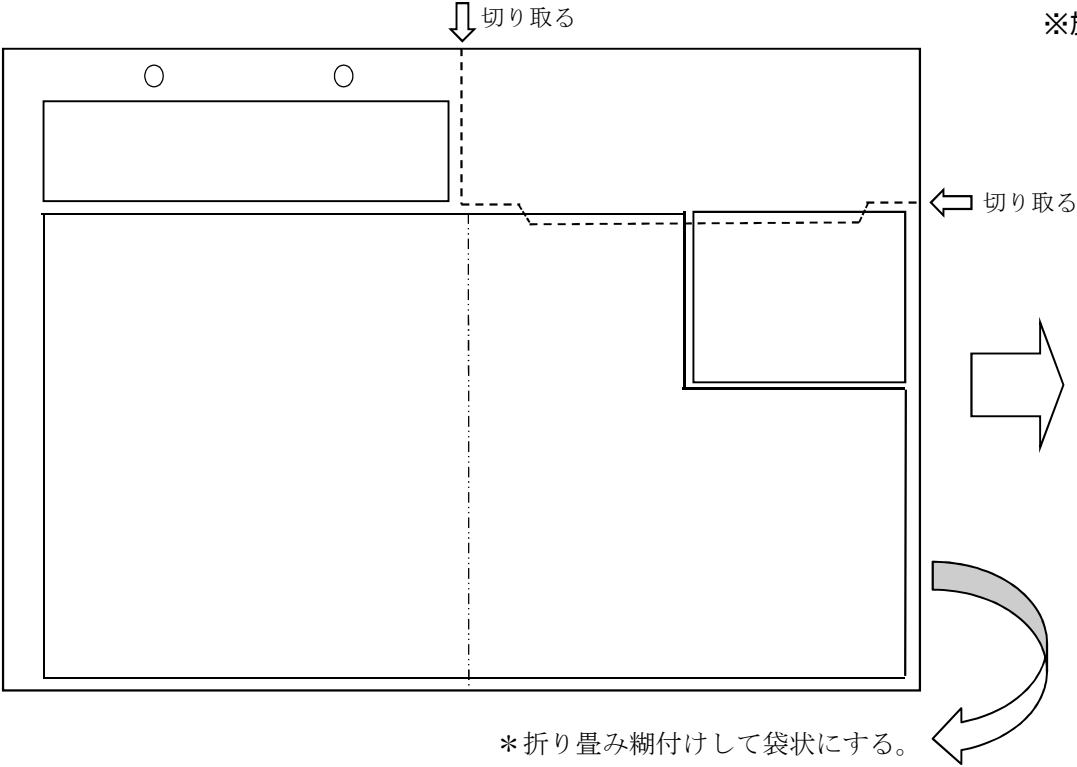
＜ 給水管工事事務所又はサービスステーション用 ＞

＜ 支所給水課台帳室用 ＞

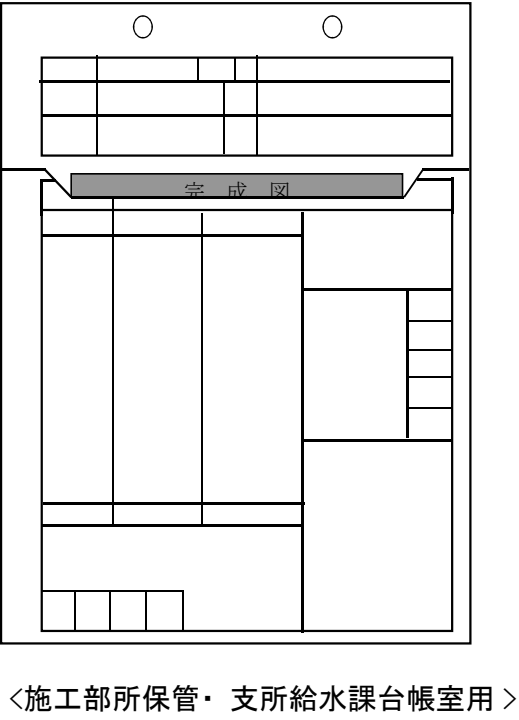
< 取付替工事調書(給水装置様式235) >

◇◇ 取 付 替 工 事 調 書 ◇◇									
局 記 入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">課 長</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">課長代理</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">担 当 者</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="height: 40px;"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">局 記 入 印</td> </tr> </table>			課 長	課長代理	担 当 者			局 記 入 印
課 長	課長代理	担 当 者							
		局 記 入 印							
受付年月日	年 ア 月 日	施工部所	支所 イ 課						
工 事 件 名	区 町 丁目 ウ 番地先間 工事								
工 事 番 号	第 工 号	着手年月日 完工年月日	年 オ 月 日 年 月 日						
取付替件数	お客さま番号 カ 他 件								
受 注 者	キ		装置関係異動作成： 済 施工票整理(工務担当)： 済 <div style="text-align: center; font-weight: bold;">局 記 入</div>						
〔備 考〕									
取 付 替 場 所 案 内									
町	—	～	町 — ～						
町	—	～	町 — ～						
町	—	～	町 — ～						
町	—	～	町 — ～						
町	—	～	町 — ～						
町	—	～	町 — ～						
完成図番号	取付替 第 年度 局 記 入 号 — 図								

＜ 工事調書（給水装置様式9を使用） ＞



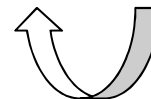
※施工部所決裁欄は既存欄を流用又は新たに設ける。



＜ 工事調書（給水装置様式9を使用） ＞

※ 施工部所決裁欄は既存欄を流用又は新たに設ける。
※ 不要箇所斜線については監督員の指示による。

- ※ 施工部所決裁欄は既存欄を流用又は新たに設ける。
- ※ 不要箇所斜線については監督員の指示による。



第 14 水道管管理図修正用 資料の作成方法

水道管管理図修正用資料の作成方法

給水管整備改良工事等を請負者（受注者）で施工した場合の水道管管理図修正用資料は、次により作成すること。ただし、完成図が総合完成図方式による場合は、複写図を水道管管理図修正用資料とする。

（１） 作成図面

監督員より提供される水道マッピングシステムにより出力した水道管管理図又はそれを複写したものを使用すること。

（２） 記載事項

ア 建物の輪郭

変更のない場合は記入不要とする。

イ 水道番号

新設工事の場合は、水道番号の手前に「A」を記入すること。

なお、水道番号に変更のない場合は記入不要とする。

ウ 所有者又はビル名

名義の変更のない場合は記入不要とする。

エ 取り出し管（分岐管）

取り出し位置（分岐位置）の変更が1 m未満の場合は、記入不要とする。ただし、取り出し管の口径又はメータ口径を変更した場合は、止水栓（仕切弁 B）及びメータ製図記号直近の下流側に口径を記入すること。

オ メータ、増圧給水設備、受水タンク及び応急給水栓

設置位置を給水管とともに記入すること。ただし、設置位置の変更が2 m未満の場合は、記入不要とする。

カ 止 水 栓

第一止水栓（仕切弁 B 又は制水弁）を記入し、仕切弁 B（都仕様：ボール止水栓）を設置した場合は、「B」と表示すること。

なお、メータ直近の止水栓（仕切弁 A 又は制水弁）については、記入不要とする。

キ 口径の表示

メータ及び止水栓（仕切弁 B 又は制水弁）の製図記号直近の下流側の口径を記入すること。

ク 浅層埋設管の明記

水道管管理図又はそれを複写したもの及び添付する完成図（複写図）の各右上部に、「浅層埋設管」と赤字で記載すること。

ケ 鉛製給水管の明記

取り出し部分からメータ間の給水管において、SL 継手先等、鉛製給水管が残存している場合は、取り出し部に「☆」を表示すること。

なお、「☆」の表示はステンレス管表示「S」及びステンレス製バルブ付分水栓表示「\$」に優先するものとする。





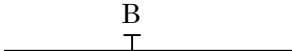
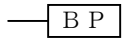

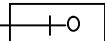
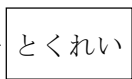
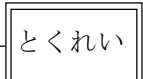

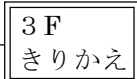
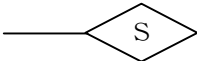
コ 大口径給水管の管類の明記

取り出し部分から第一止水栓間の管種を取出し部に表示すること。

なお、内面粉体ダクタイル鋳鉄管については、継手表示部分を□で囲むこと。

(3) 製図記号等

図面には、下記製図記号を用いて平面図で表すこと。

給水管			
メータ			※製図記号の直近下流側に口径を記入する。
メータバイパスユニットを使用した場合			
止水栓			仕切弁 B（都規格）又は制水弁の場合。
			仕切弁 B（都仕様：ボール止水栓）の場合。
三階建て直結給水	<div>3 F タンクなし</div>		※3F タンクなしと表示し、□で囲む。
ステンレス管表示	S		ステンレス管の場合、分岐部に表示。
ステンレス製ボール付分水栓表示	\$		表示する場合は、ステンレス管表示は省略。
鉛製給水管の表示	☆		取出部分～メータ間に鉛管がある場合。「S」及び「\$」より優先表示。
大口径給水管の管類 （取出部分～第一止水栓間）	F C D G X 又は N S		F C D G X 等耐震継手の場合に取出し部に表示。なお、内面紛体管の場合は継手表示部分を□で囲む。
	F C 不明		ねずみ鋳鉄管が含まれる場合。
	F C D その他		上記以外の場合。
増圧給水設備			
受水タンク	受水タンク手前の直結栓の有無により区別する。有……  無…… 		楕円で囲む。 □で囲む。
特例直圧給水	高置タンクなし	高置タンクあり	高置タンクなしは□で囲む。 高置タンクありは二重線の□で囲む。
			
三階までの例外 （受水タンク以下装置を再 使用したもの、一階及び二階 の建物含む。）	高置タンクなし	高置タンクあり	高置タンクなしは□で囲む。 高置タンクありは二重線の□で囲む。
			
応急給水栓			簡易排水栓と同様の記号。

(4) 縮 尺

1 / 500 で記入すること。

(5) 図示範囲等

ア 新規に記入するものは、鉛筆により図示すること。

イ 配水小管又は他の給水管からの取り出し部（分岐部）から家屋に入る所まで図示すること。

なお、増圧給水設備、受水タンク及び応急給水栓を設置する場合は、給水管とともに設置位置まで記入すること。

(6) 色 分 け

新規に記入するものと抹消するものとを区別するため、次のとおり色分けすること。

ア 新規・・・・赤色

イ 抹消・・・・緑色

(7) 作成部数

1 部作成すること。

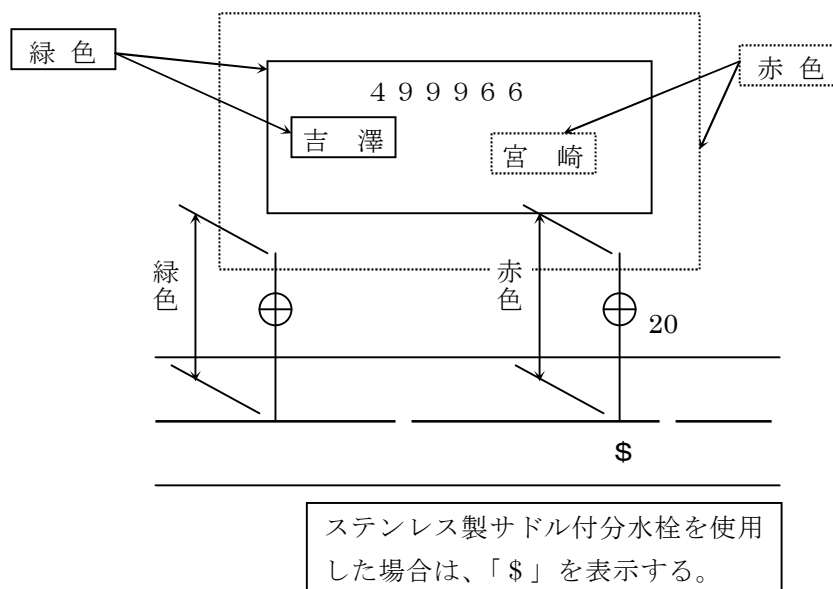
(8) 添付資料

完成図（複写図）：1 部

(9) 記 入 例

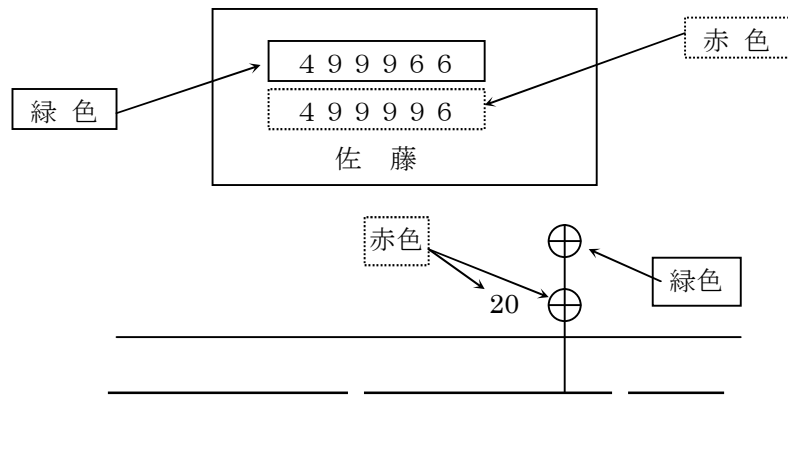
(記入例－1)

○改造工事の場合



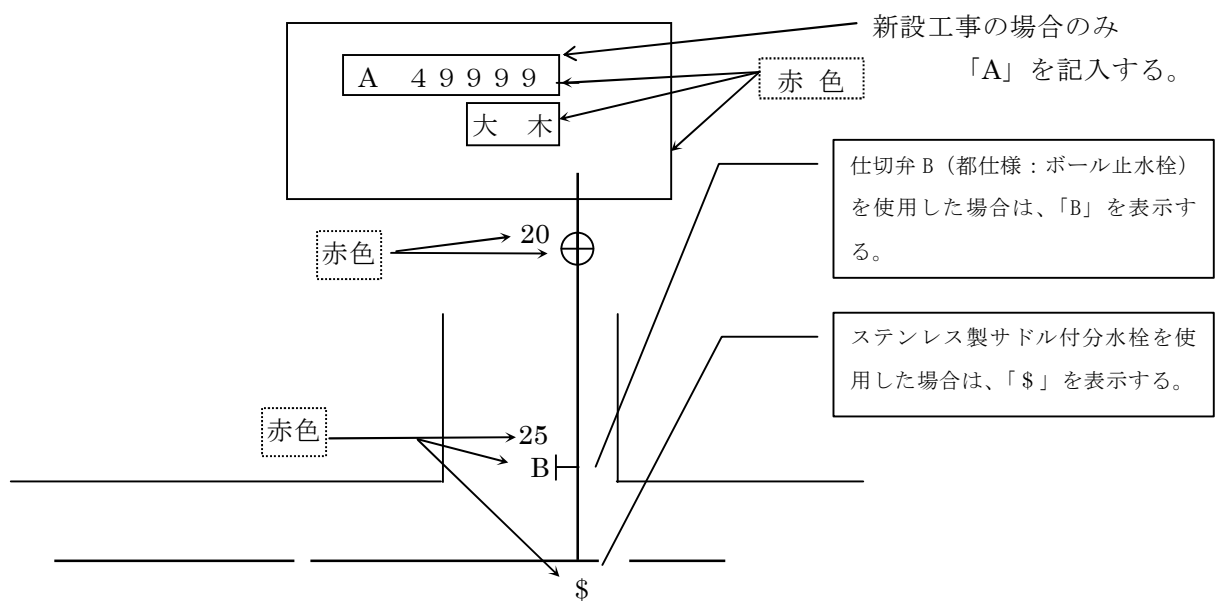
(記入例－2)

○メータ位置変更工事とともに水道番号を修正する場合



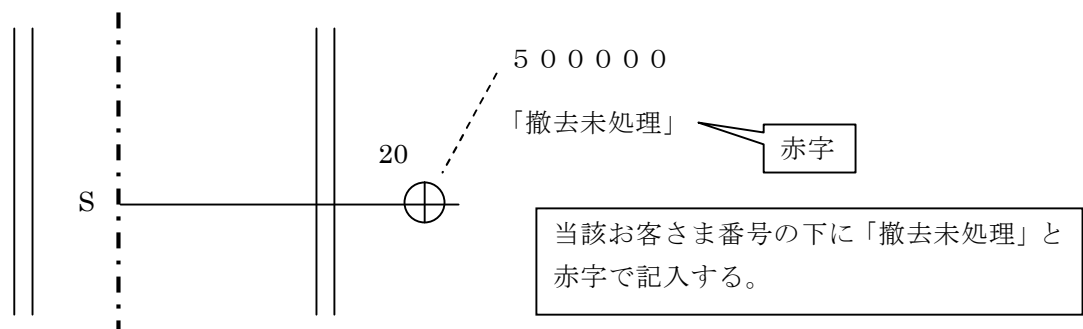
(記入例－3)

○新設工事の場合



(記入例－4)

○舗装掘削規制及び当局事由により撤去工事を施工保留する場合



統一 1

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 1 1 5 5 0 0 号

工 事 着 手 届

平成 2 5 年 4 月 8 日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

印

下記のとおり着手したので届け出ます。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

2 5 水経契契第 2 号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . -
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)

契 約 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 5 日

工

期

平成 2 5 年 9 月 1 2 日

着 手 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 8 日

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 着手日指定の場合は、着手指定日に届け出ること。

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 1 1 5 5 0 0 号

現場代理人及び主任技術者等通知書

平成 2 5 年 4 月 8 日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号

氏名

代表取締役 水 道 太 郎

印

〔 法人の場合は名称及び代表者の氏名 〕

現場代理人及び主任技術者等下記のとおり定めたので別紙経歴書を添えて通知します。

文 書 番 号 (契 約 番 号)	2 5 水経契契第 2 号		
工 事 件 名	〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事		
工 事 場 所	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場		
契 約 金 額	¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)		
契 約 年 月 日	平成 2 5 年 4 月 5 日	工 期	平成 2 5 年 9 月 1 2 日
技 術 者 分 類	技 術 者 氏 名	建設業法上の該当資格に ○を付ける。	備 考
現場代理人氏名	ふりがな せつび いちろう 設備 一郎		現場代理人と主任技術者又は 監理技術者は兼任できる。
主任技術者氏名	ふりがな せつび じろう 設備 二郎	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	
監理技術者氏名	ふりがな せつび さぶろう 設備 三郎	建設業法第 1 5 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	
専門技術者氏名 ()	ふりがな	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	() 内には専門技術者を 置いて施工する工事の建設 業法上の区分を記入する。
電気保安技術者氏名	ふりがな		資格は別紙経歴書に記入す る。
増員の技術者	ふりがな せつび しろう 設備 四郎		契約約款第 5 4 条関連
受注者 (J V の場 合幹事会社) の許 可区分等	土木一式・建築一式・電気・管・鋼構造物・舗装・機械器具設置・造園・水 道施設・その他 (大臣 特定 一般 6 2 第 1 2 3 4 号)		

監理業務受託者

担当者名

印

注 受注者 (J V の場合幹事会社) の許可区分等の欄は、監理技術者を設置した場合のみ記入すること。
(注) 変更の場合は、表題末尾に「(変更)」と記載し、変更者の備考欄に「(変更)」と記載すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

施 工 計 画 書

平成25年 4月10日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
受注者 水道設備株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

(法人の場合は名称
及び代表者の氏名)

現場代理人氏名 設備 一郎 (印)

下記工事について別添施工計画書を提出します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年4月5日

工

期

平成25年9月12日

監理業務受託者

担当者名

(印)

注 この様式は、施工計画書のほか変更施工計画書、溶接工の名簿、警戒宣言に伴う緊急時対策計画書等の書類の提出にも使用する。

- (注) 1 設備工事の施工計画書の作成は、「機械・電気設備工事標準仕様書」によること。
2 建築工事の施工計画書の作成は、「4 計画書等作成要領(1) 施工計画書記載要領(建築工事)」によること。
3 施工計画書を変更及び追加等する場合は、標題の横に()で表示すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

警戒宣言に伴う緊急時対策計画書

平成25年 4月10日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道設備株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

現場代理人氏名 設備 一郎 ⑩

下記工事について別添 警戒宣言に伴う緊急時対策計画書 を提出します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年4月5日

工

期

平成25年9月12日

監理業務受託者

担当者名

⑩

注 この様式は、施工計画書のほか変更施工計画書、溶接工の名簿、警戒宣言に伴う緊急時対策計画書等の書類の提出にも使用する。

- (注) 1 設備工事の施工計画書の作成は、「機械・電気設備工事標準仕様書」によること。
 2 建築工事の施工計画書の作成は、「4 計画書等作成要領(1) 施工計画書記載要領(建築工事)」によること。
 3 施工計画書を変更及び追加等する場合は、標題の横に()で表示すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 1 1 5 5 0 0 号

建設業退職金共済制度加入届

(発注者宛)

平成 2 5 年 4 月 1 7 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号

氏名

水道設備株式会社
代表取締役 水 道 太 郎

印

法人の場合は名称
及び代表者の氏名

建設業退職金共済制度の加入について、

- ・ 掛 金 収 納 書
- ・ 標 識 (シール) の 工 事 現 場
における 掲 示 状 況 写 真
- ・ 建 設 業 退 職 金 共 済 証 紙
購 入 状 況 報 告 書

を添えて届け出ます。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

2 5 水経契契第 2 号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . -

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)

契 約 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 5 日

工

期

平成 2 5 年 9 月 1 2 日

- ・ 上記添付書類のうち、掛金収納書、標識(シール)の工事現場における掲示状況写真、建設業退職金共済証紙購入状況報告書のいずれかを提出できない場合は、提出できない書類名称及び提出できない理由を下記に記載すること。
 - ・ 建設業退職金共済制度に非加入の場合は他の共済制度(中小企業退職金共済制度等)に加入している状況を下記に記載し証明する書類を添付し提出すること。
- 【提出できない場合(3ケース)の記載例】
- 本工事は、
- ケース 1 高度な技術を要する〇〇工事のため。
 - ケース 2 専門的な〇〇工事であり、自社で退職金制度を持つ当社社員のみで施工を行うため、
 - ケース 3 技術資格を有する作業で施工し、退職金制度をもつ会社に所属しているため、
- 本制度に該当する現場労働者は雇用しません。
このため、本工事に係る掛金収納書の提出はいたしません。

監理業務受託者

担当者名

印

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

主要資材発注予定報告書

平成25年 7月16日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
受注者 水道設備株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

現場代理人 設備 一郎 ⑩

下記の工事に使用する主要資材を別紙のとおり発注する予定なので報告します。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年4月5日

工

期

平成25年9月12日

監理業務受託者

担当者名

⑩

統一 8

文 書 番 号 (工事番号)	第 1 1 1 5 5 0 0 号
-------------------	-------------------

下 請 負 届

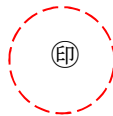
(発注者宛)

平成 2 5 年 4 月 1 9 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎
〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕



下記のとおり下請負により施工しますので届け出ます。
なお、下請負者に対する工事の調整、指導及び監督については、当社において一切の責任を
もって行います。

文 書 番 号 (契 約 番 号)	2 5 水経契契第 2 号		
工 事 件 名	〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事		
工 事 場 所	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場		
契 約 金 額	¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)		
契 約 年 月 日	平成 2 5 年 4 月 5 日	工 期	平成 2 5 年 9 月 1 2 日
下 請 負 金 額	¥ 8 7 , 0 7 0 , 0 0 0 . - (¥ 8 5 . 5 7 0 . 0 0 0 . -)		
下 請 負 者 名	別紙記載のとおり		

監理業務受託者	担当者名	印
---------	------	---

(注) 下請負金額の () 内には、建設業法別表第一に規定される 2 9 業種のみを対象として積み上げた金額を記載すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

認 定 請 求 書

(発注者宛)

平成25年 7月 4日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
 水道設備株式会社
 受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

法人の場合は名称
 及び代表者の氏名

印

下記の工事について、中間前払金の請求をしたいので、要件を満たしていることの認定を
 請求します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥193,494,000.-

既 受 領 額

¥77,300,000.-

契 約 年 月 日

平成25年4月5日

工

期

平成25年9月12日

摘 要

監理業務受託者

担当者名

印

*工事履行報告書を添付すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

(材料・機器試験) 記録の報告書

平成25年 6月13日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号

氏名

水道設備株式会社

代表取締役 水 道 太 郎

法人の場合は名称
及び代表者の氏名

現場代理人氏名 設備 一郎

印

下記工事の (材料・機器試験) 記録を報告します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

¥193,494,000.-

備 考

材料・機器名 〇〇〇〇

試験内容 〇〇〇〇試験

材料・機器試験証明書は、別紙のとおり

監理業務受託者

担当者名

印

注 1 この様式は、工事施工管理基準に基づく材料の試験成績表、出来形の測定結果表等の提出及び絶縁・水圧試験等の報告に使用する。

2 () 内には、路盤材料の試験、アスファルト混合物の試験、擁壁工の出来形管理、絶縁試験等と記載する。

(注) この様式は、立会検査を省略した場合に用いること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

材料検査請求書 (第1回)

(発注者宛)

平成25年 7月16日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号

水道設備株式会社

氏名

代表取締役 水 道 太 郎

法人の場合は名称
及び代表者の氏名

現場代理人氏名 設備 一郎

印

下記のとおり材料検査を請求します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥193,494,000.-

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年4月5日

工

期

平成25年9月12日

検 査 場 所

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番 〇〇製作株式会社 〇〇工場

検査対象材料

別紙のとおり

検 査 員

職 氏 名

主事 〇〇 〇〇 印

立 会 職 員

職 氏 名

主事 □□ □□ 印

検 査 年 月 日

平成25年 7月26日

監理業務受託者

担当者名

印

(注) この様式は、工場検査立会いの請求に使用すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

中間検査請求書 (第1回)

(発注者宛)

平成25年 7月16日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎〔法人の場合は名称
及び代表者の氏名〕

現場代理人氏名 設備 一郎 印

下記のとおり中間検査を請求します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年4月5日

工

期

平成25年9月12日

検 査 場 所

〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇給水所

検 査 対 象

別紙のとおり

検 査 員

職 氏 名

主事 〇〇 〇〇 印

立 会 職 員

職 氏 名

主事 □□ □□ 印

検 査 年 月 日

平成25年 7月25日

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 中間検査とは、既済部分検査以外の管継手の塗装、モルタル充填等の検査のもので後日確認が困難な場合等に行う検査である。

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 1 1 5 5 0 0 号

休 日 等 の 工 事 施 工 届

(発注者宛)

平成 2 5 年 5 月 7 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道設備株式会社

氏名

代表取締役 水 道 太 郎

法人の場合は名称
及び代表者の氏名

現場代理人氏名 設備 一郎

印

下記工事について工期に含まれていない休日等の工事施工について届け出ます。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

2 5 水経契契第 2 号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . -
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)

契 約 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 5 日

工

期

平成 2 5 年 9 月 1 2 日

届
出
事
項

施工年月日

平成 2 5 年 5 月 1 1 日

箇

所

〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号
東京都水道局〇〇給水所

理由及び工事内容

水運用上の都合から、ポンプ設備の全停止が可能な休日に作業を行う。
(作業内容)
吐出仕切弁の取替え

監理業務受託者

担当者名

印

(注) この様式は、工期に含まれない日に作業を行う場合に用いること。ただし、届出事項については、必ず事前に監督員と打合せ又は協議をすること。

文 書 番 号 (工事番号)	第 1 1 1 5 5 0 0 号
-------------------	-------------------

工 事 日 報

平成 年 月 日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
受注者 水道設備株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

文 書 番 号 (契 約 番 号)	2 5 水経契契第 2 号		
工 事 件 名	〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事		
工 事 場 所	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場		
契 約 金 額	¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)		
契 約 年 月 日	平成 2 5 年 4 月 5 日	工 期	平成 2 5 年 9 月 1 2 日
着 手 年 月 日	平成 2 5 年 4 月 8 日		

監理業務受託者		担当者名	印
---------	--	------	---

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 1 1 5 5 0 0 号

発生材報告書 (第 1 回)

平成 2 5 年 8 月 2 1 日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

(法人の場合は名称
及び代表者の氏名)

印

下記工事に際し、別紙の発生材が生じたので報告します。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

2 5 水経契契第 2 号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . -
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)

契 約 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 5 日

工

期

平成 2 5 年 9 月 1 2 日

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 発生材報告内訳書を添付すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 1 1 5 5 0 0 号

既済部分検査請求書（第 1 回）

(発注者宛)

平成 2 5 年 7 月 1 6 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
 受注者 水道設備株式会社
 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

（法人の場合は名称
及び代表者の氏名）

印

下記工事の既済部分検査（第 1 回）を請求します。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

2 5 水経契契第 2 号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . -

既 受 領 額
(うち前払金額)¥ 7 7 , 3 0 0 , 0 0 0 . -
(¥77,300,000.-)

契 約 年 月 日

平成 2 5 年 4 月 5 日

工 期

平成 2 5 年 9 月 1 2 日

既済部分の支払
を受ける根拠

工事請負契約書第 3 8 条

監理業務受託者

担当者名

印

(注) 既済部分調書兼出来高率計算書を添付すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

工 事 完 了 届

平成25年 9月12日

(発注者宛)

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

（法人の場合は名称
及び代表者の氏名）

印

下記の工事を本日完了したので届け出ます。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年4月5日

工 期

平成25年9月12日

受 付 年 月 日

平成25年9月12日

監 督 員
職 氏 名

主事 〇〇〇 〇〇〇 印

監理業務受託者

担当者名

印

- (注) 1 完成調書兼工事出来高表を添付すること。
2 契約工期前に完了して本様式を提出する場合でも、工期欄は契約工期を記入すること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

工 事 完 了 届

(発注者宛)

平成25年 9月12日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号

水道設備株式会社

氏名

代表取締役 水 道 太 郎

印

法人の場合は名称
及び代表者の氏名

下記の工事を本日完了したので届け出ます。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥1,995,000.-

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額

¥95,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年4月8日

工

期

平成25年9月12日

受 付 年 月 日

平成25年 9月12日

監 督 員
職 氏 名

主事 〇〇〇 〇〇〇 印

検 査 年 月 日

平成25年 9月25日

検 査 員
職 氏 名

主事 △△△ △△△ 印

監理業務受託者

担当者名

印

備考 本書は、検査調書の作成を省略することができる場合に使用すること。

(注) 1 省略できる場合とは、東京都水道局財務規程第286条に規定するものを指す。

(注) 2 完成調書兼工事出来高表を添付すること。

(注) 3 契約工期前に完了して本様式を提出する場合でも、工期欄は契約工期を記入すること。

文 書 番 号 (工事番号)	第 1 1 1 5 5 0 0 号
-------------------	-------------------

工 事 写 真 帳

(発注者宛)

平成 2 5 年 9 月 9 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道設備株式会社

氏名

代表取締役 水 道 太 郎 ㊞

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

文 書 番 号 (契 約 番 号)	2 5 水経契契第 2 号		
工 事 件 名	〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事		
工 事 場 所	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場		
契 約 金 額	¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 9 , 2 1 4 , 0 0 0 . -)		
契 約 年 月 日	平成 2 5 年 4 月 5 日	工 期	平成 2 5 年 9 月 1 2 日
着 手 年 月 日	平成 2 5 年 4 月 8 日		

監理業務受託者		担当者名	㊞
---------	--	------	---

文書番号
(工事番号)

第1115500号

(第1回図書) 承諾申請書

(発注者宛)

平成25年 6月 6日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所

東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道設備株式会社

氏名

代表取締役 水道 太郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

現場代理人氏名

設備 一郎

⑩

下記工事について、別添(図書)の承諾を申請します。

文 書 番 号
(契 約 番 号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥193,494,000.-

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年4月5日

工

期

平成25年9月12日

上記の件について承諾します。

現場代理人 殿

平成25年 6月10日

(工事主管課長)

東京都水道局〇〇事務所

〇〇 課長

氏名

□□□

□□□

⑩

監理業務受託者

担当者名

⑩

注 1 この様式は、仕様書等で承諾を義務付けられているものについて使用する。

2 () 内には、制作方法、基礎杭頭部切断、材料等と記載する。

(注) 承諾図書が複数ある場合は、別紙に一覧表(様式は任意)を添付すること。

文書番号
(工事番号)

第1115500号

請求・通知
報告・協議

書

(発注者宛)

平成25年 7月29日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水道 太郎

（法人の場合は名称
及び代表者の氏名）

印

下記工事について工事請負契約書の第20条1項により

請求・通知
報告・協議

します。

文書番号
(契約番号)

25水経契契第2号

工事件名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工事場所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契約金額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契約年月日

平成25年4月5日

工

期

平成25年9月12日

請求・通知
報告・協議

内容

〇〇〇〇により、工期内に工事を完了することが不可能なため、△△△△日間の工期の延長を請求します。

監理業務受託者

担当者名

印

(注) この様式は、契約約款に基づく請求・通知・報告・協議に用いること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

協 議
報 告

 書

(総括監督員又は工事主管課長)

平成25年 6月10日

東京都水道局〇〇事務所

〇〇課長 〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

（法人の場合は名称
及び代表者の氏名）

現場代理人氏名 設備 一郎 (印)

 下記の工事について 機械・電気設備工事標準仕様書〇. 〇. 〇に基づき

協 議
報 告

 します。
文 書 番 号
(契 約 番 号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

協 議
報 告

 内容

工事中機械器具等において、排出対策型建設機械の使用が指定されているが、本工事では、〇〇〇〇〇〇で△△△△△△△なため、使用することが難しいと考えられるので、従来の建設機械の使用について協議します。

監理業務受託者

担当者名

(印)

(注) この様式は、仕様書の本文中に監督員と協議することとなっているものに用いること。

文 書 番 号
(工事番号)

第1115500号

基 本 計 画 書

(発注者宛)

平成25年 6月24日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称
及び代表者の氏名 〕

現場代理人氏名 設備 一郎 印

下記の工事について別添基本計画書を提出します。

文 書 番 号
(契約番号)

25水経契契第2号

工 事 件 名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工 事 場 所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥9,214,000.-)

契 約 年 月 日

平成25年4月5日

工

期

平成25年9月12日

監理業務受託者

担当者名

印

注 この仕様書は、施工計画書のほか変更施工計画書、溶接工の名簿、警戒宣言に伴う緊急対策計画書等の書類の提出にも使用する。

文 書 番 号 (工事番号)	第 1 1 1 5 5 0 0 号
-------------------	-------------------

改 善 報 告 書

(総括監督員又は監督員)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

東京都水道局〇〇〇〇事務所

〇〇課長 〇〇〇 〇〇〇 殿

(現場代理人)

水道設備株式会社

設備 一郎



文 書 番 号 (契 約 番 号)	2 5 水経契契第 2 号		
工 事 件 名	〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事		
工 事 場 所	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場		
契 約 金 額	￥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ￥9,214,000.-)		
契 約 年 月 日	平成 2 5 年 4 月 5 日	工 期	平成 2 5 年 9 月 1 2 日

平成〇〇年〇〇月〇〇日に交付された 改善命令書 について、下記のとおり改善したので報告します。

監理業務受託者		担当者名	
---------	--	------	--